

「相視相愛。」



R18
ADULT ONLY
成人向け作品につき
18歳未満閲覧禁止

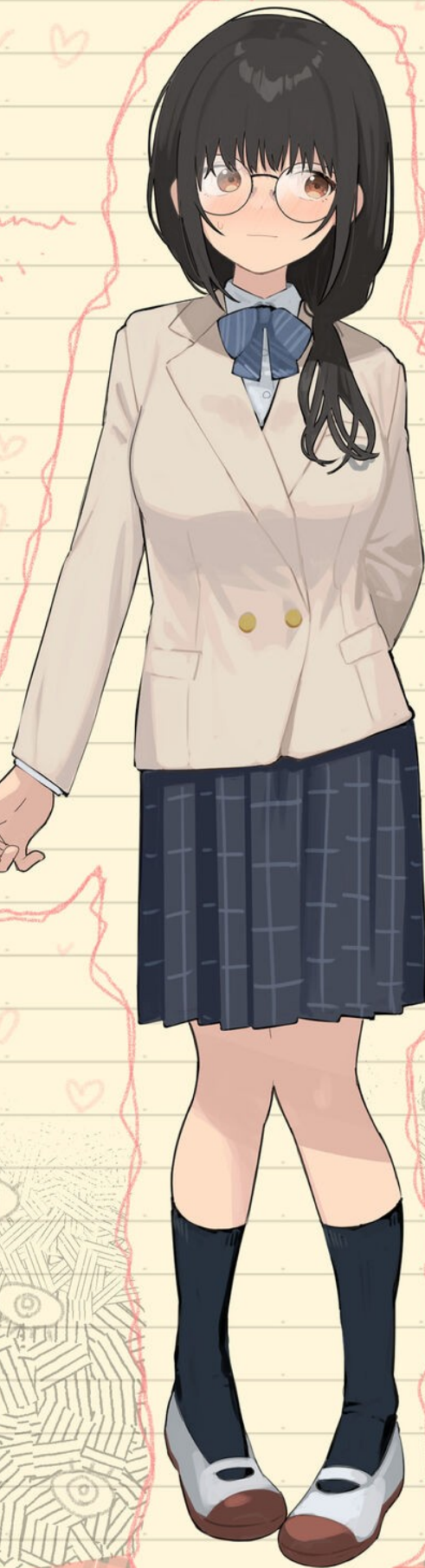
みしま みゆき
三嶋 御幸

みやした みわこ
宮下 美羽子

人物紹介



両想い



みしま みゆき
みやした みわこ



御幸くん……

ねえ……





今は

1カ月前




僕と付き合ってください！
宮下さん！


好きです！



おとこ みしまみゆき
漢 三嶋御幸
人生で初めての
告白をした




不束者ですが
よろしくお願ひします



月並みだけど
笑顔が素敵だと
思った

同時に――

彼女――



みやしたみわこ
宮下美羽子の
笑顔は

どこか
見覚えがあった



夢みたいだ

この僕が女の子と
付き合えるなんて……



それも
1年の頃からずっと
好きだった女子と!



……と
そう上手く
いけばよかった
んだけど……

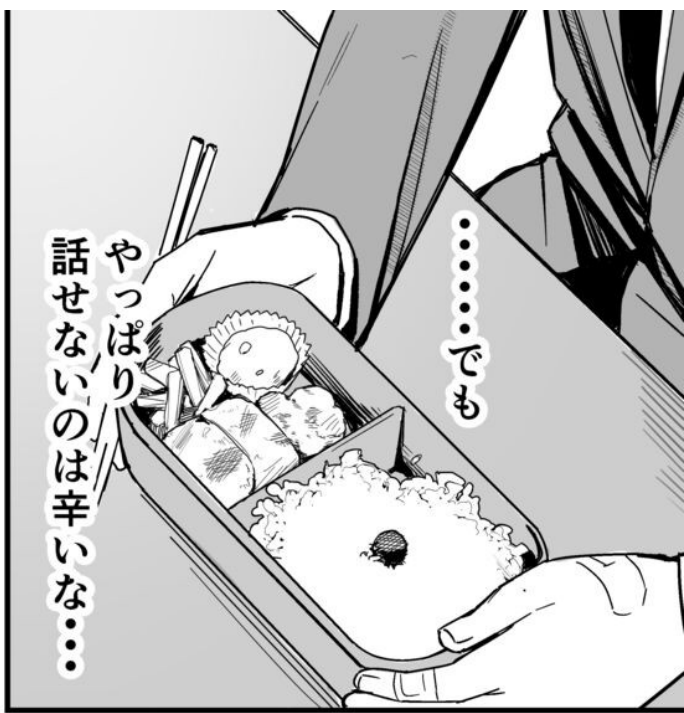


今日から僕は
バラ色の
学園生活……!!



宮下さんって
あまり人と関わらない
タイプだから
情報が入ってこない

そういえば
1年の頃からずっと
好きだった割に



やっぱり
話せないのは辛いな……

……でも



週末デートに
誘って
みよう!

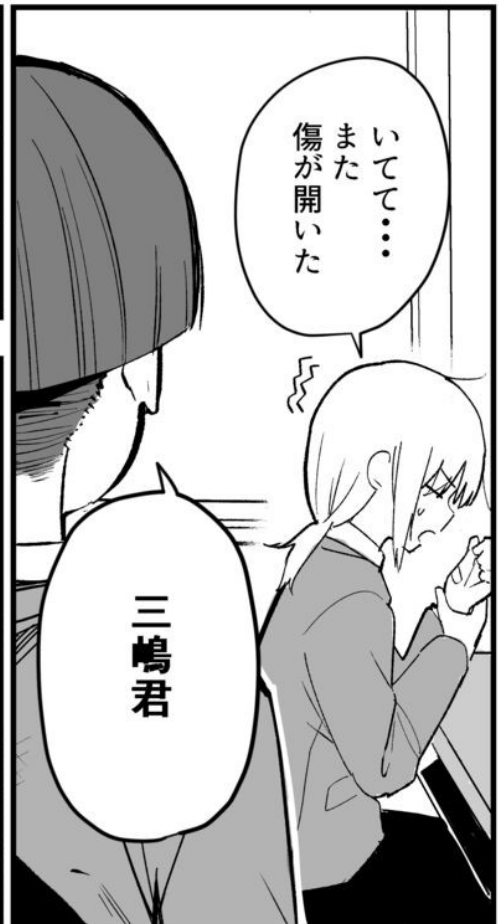
……よし!



村田先生が
生徒指導室に
来いって……

あ……
うん

……



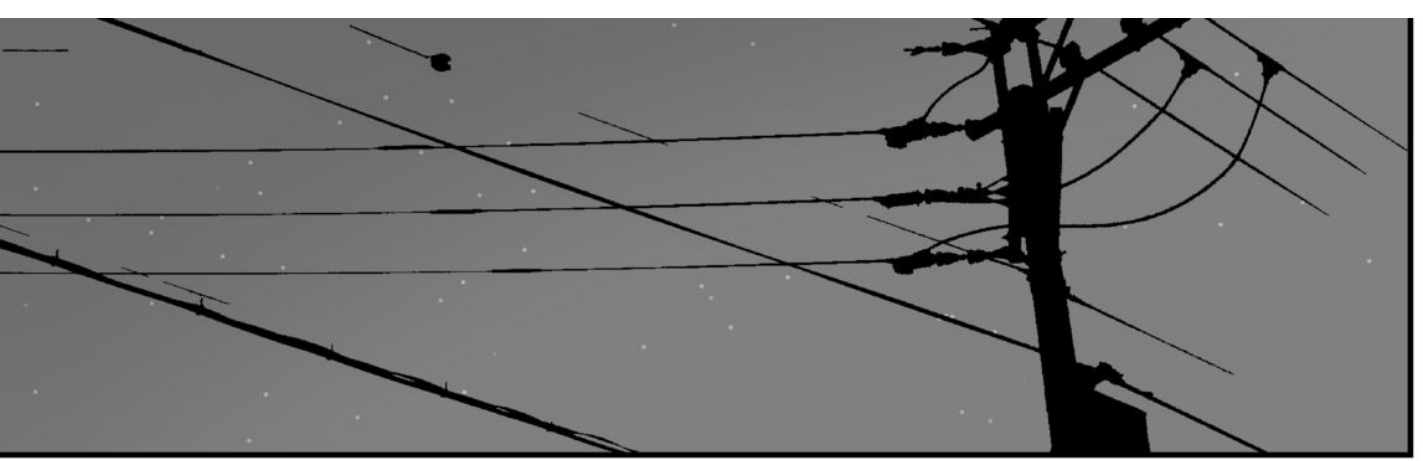
いって……
また
傷が開いた

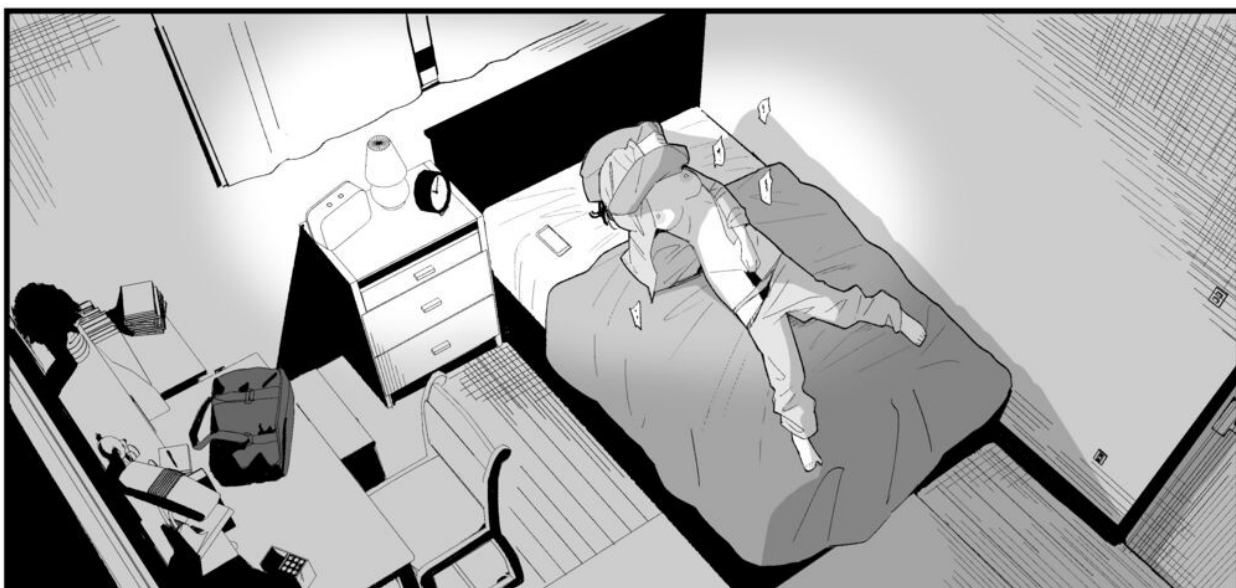
三嶋君



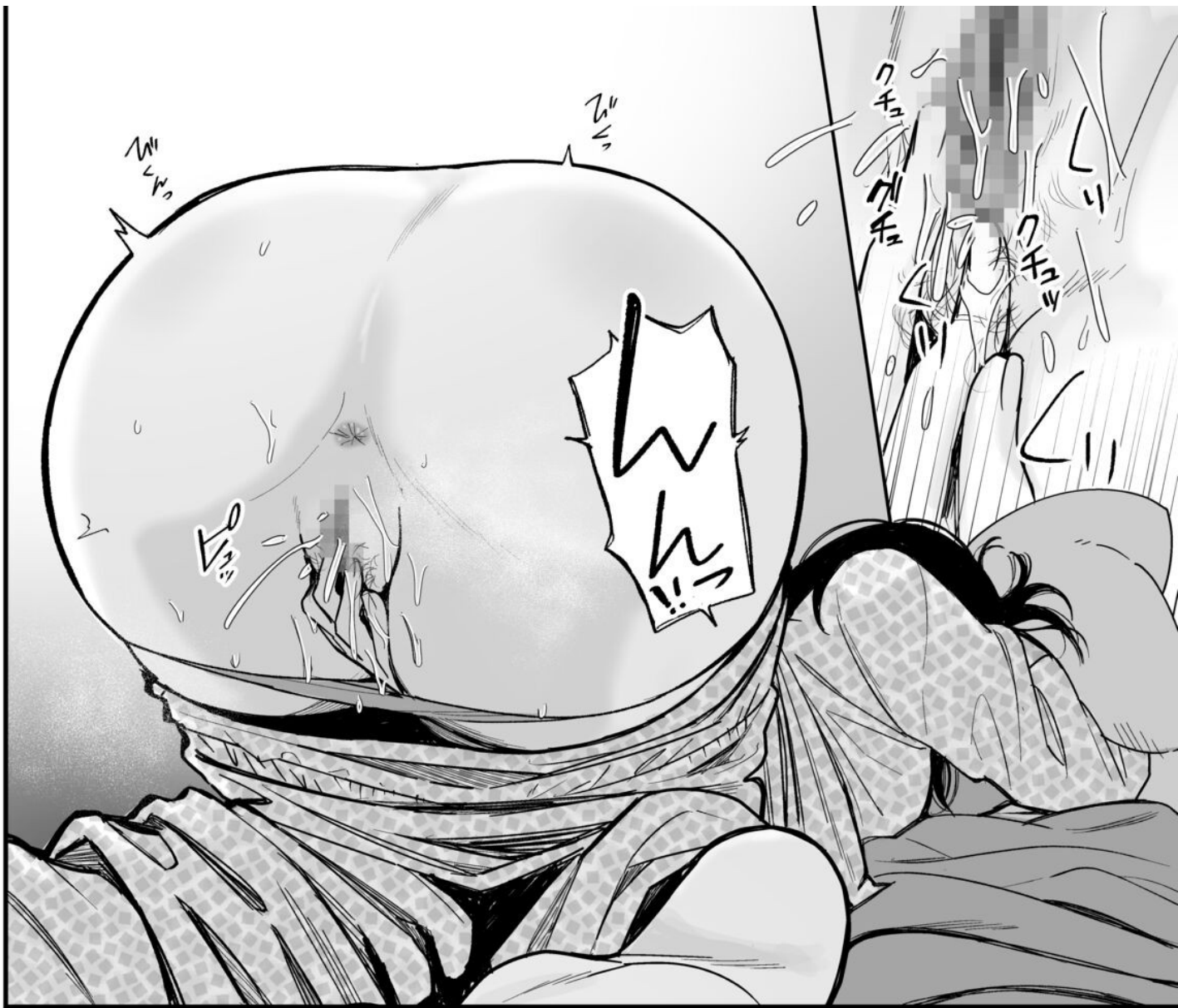
左手
どうしたの?

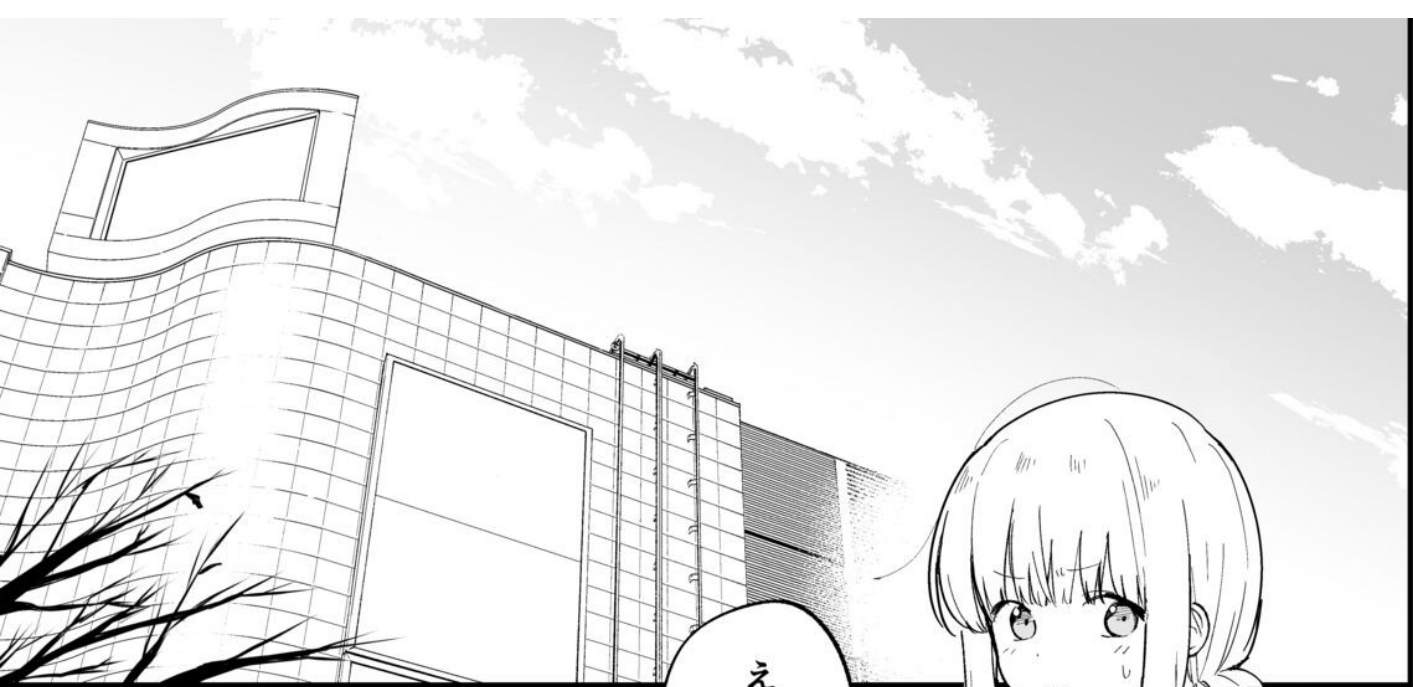
あ
ちょっとケガ
しただけ











えーっと……

2階の
中央広場は
………

現在地



MOVIE SP



生徒と
鉢合わせないように
隣町まで来てで
待ち合わせしたは
いいけど……



御幸君

初デートで遅刻なんて
宮下さんに
なんて詫びれば……っ！



……迷った！

人が多すぎる！



か

見つけた

可愛い



なっ…
なんでも
ないよっ!

どうか
した?



この
人混みを…?



ど…どうして
ここが…?

たまたま
通りかかったんだ

え?

ギィ



宮下さんから
目が離せなかった...



気が付けば
彼女を
目で追っている

好きになった
理由も確か
そんな感じ

今もそう……

ずっと彼女を
見ていたい

……けれど
記憶の奥底にある
違和感がずっと
拭えないでいた



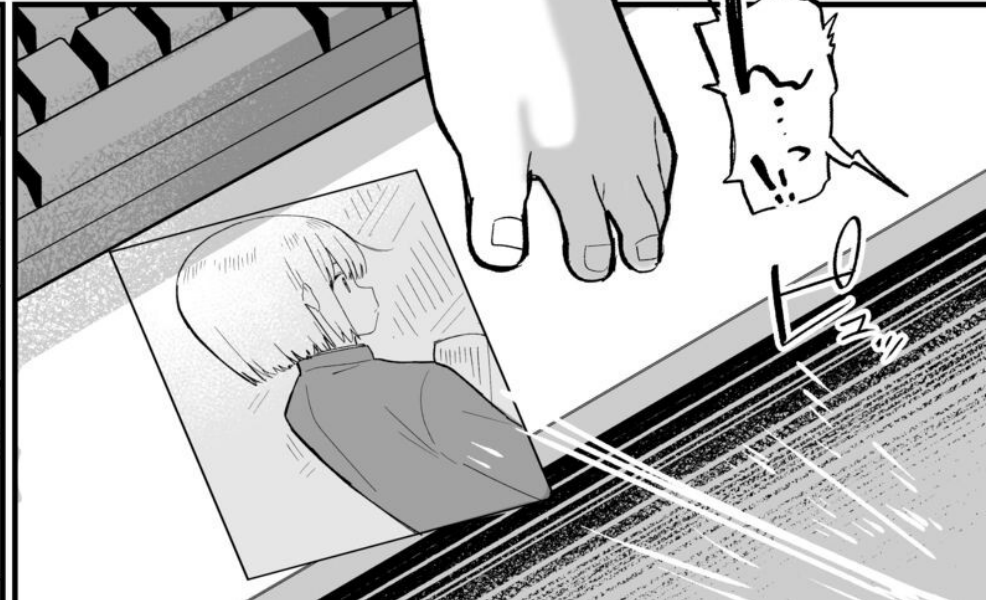
ずるずると
頭の中を
這い回る不安

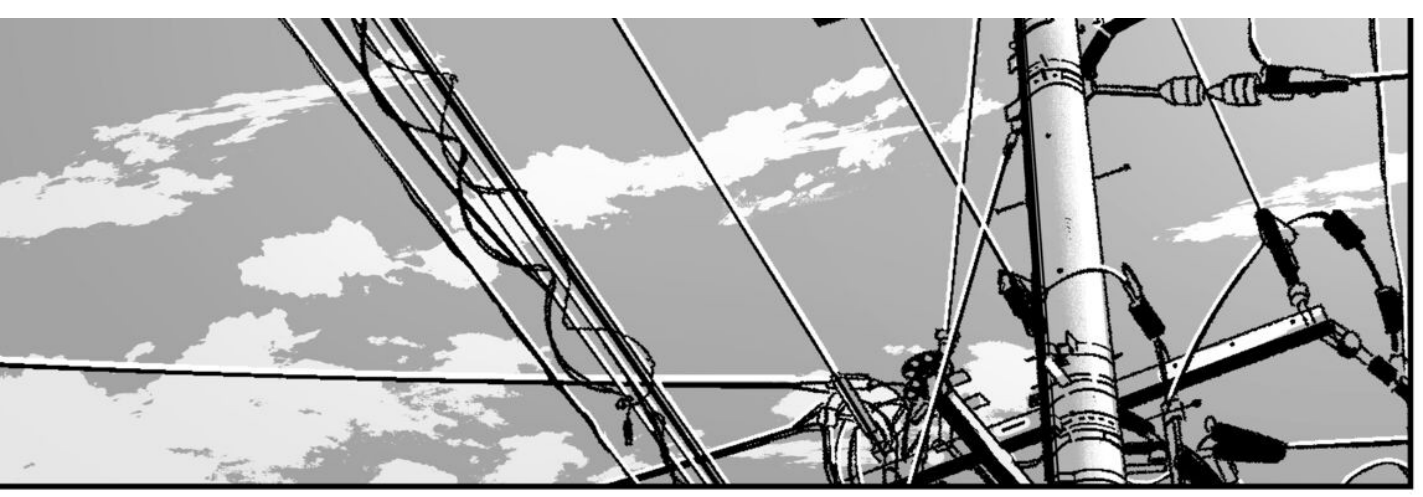
それを掬い上げて
しまったらこの夢が
覚めてしまうような

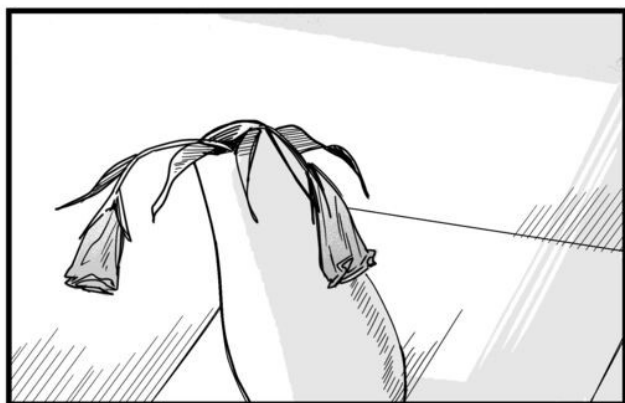


僕はただ
その夢が覚めて
しまわないように

出かかっていた
違和感の正体を
心の奥底に
仕舞った



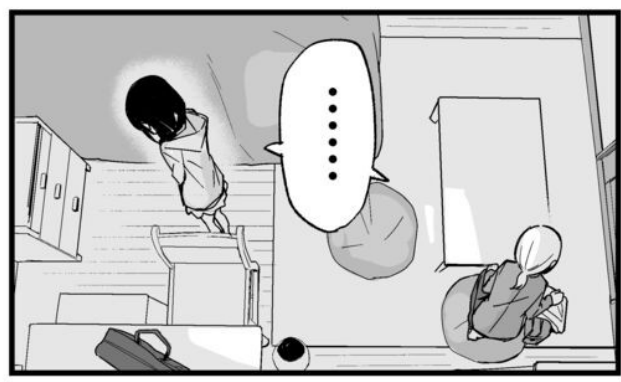






…テスト勉強で
女子の部屋は
結構…

いや
かなり緊張する！
…しかも
二人きり！！



…



しょ…
初日は国語と地理
だったよね？

うん…



先に
渡しておくね



御幸くん

はいっ！！



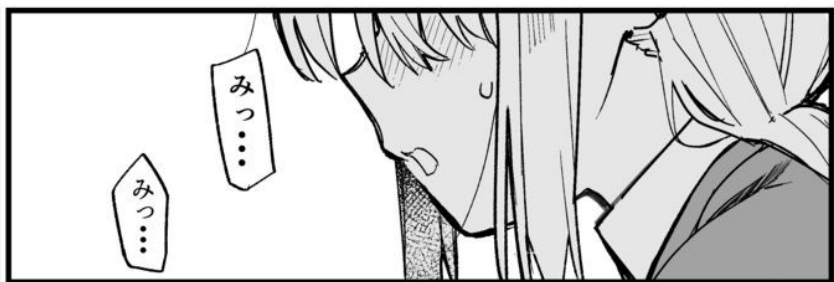


私だけ名前で
呼んでるのも……

なんか……ね
はは……



御幸……くん?



みつ……
みつ……



美羽子ちゃんっ!



今なら……
いいよね？

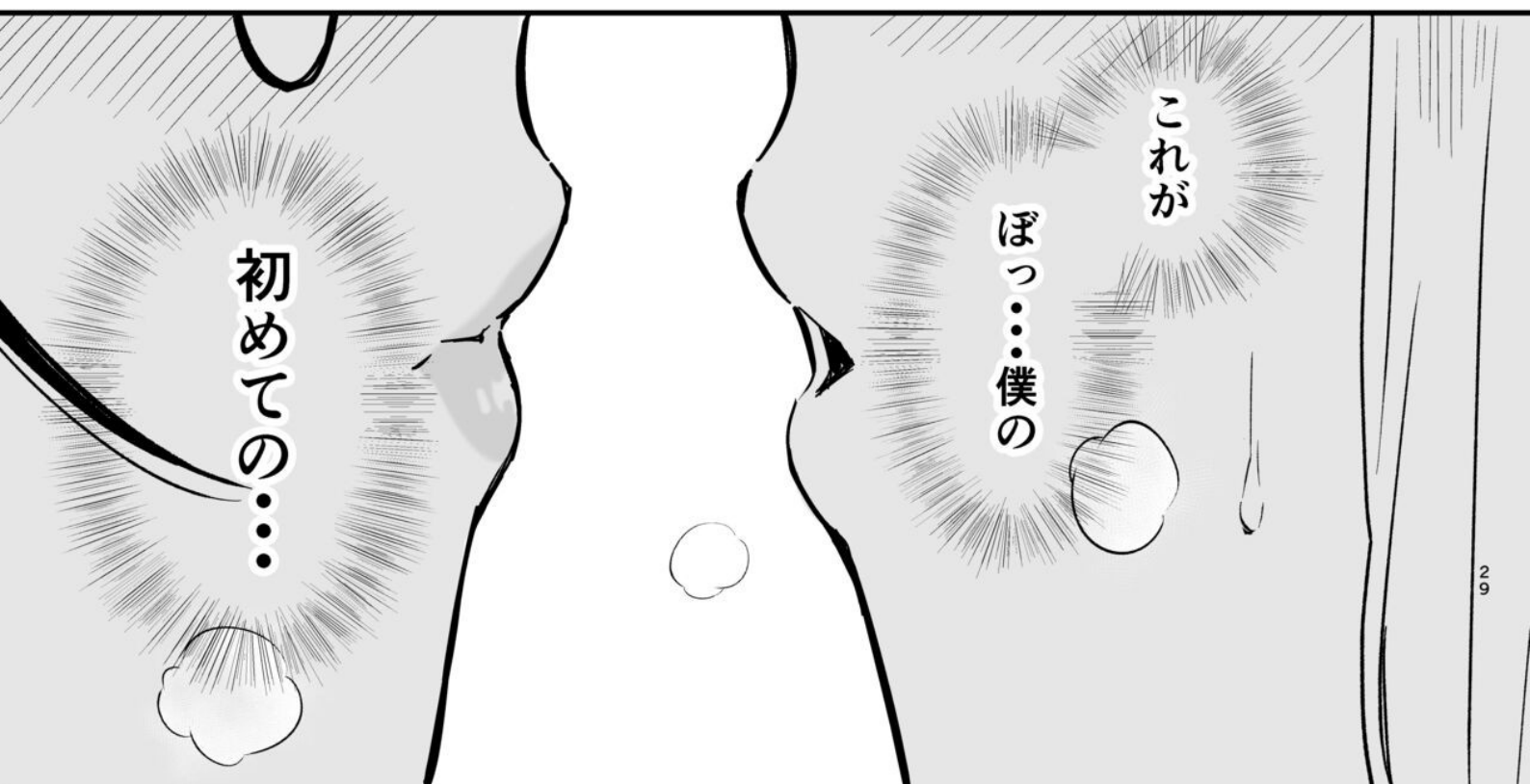
御幸くら〜？



だって恋人だし

雰囲気もバツチリ

美羽子ちゃん



これが

ぼっ……僕の

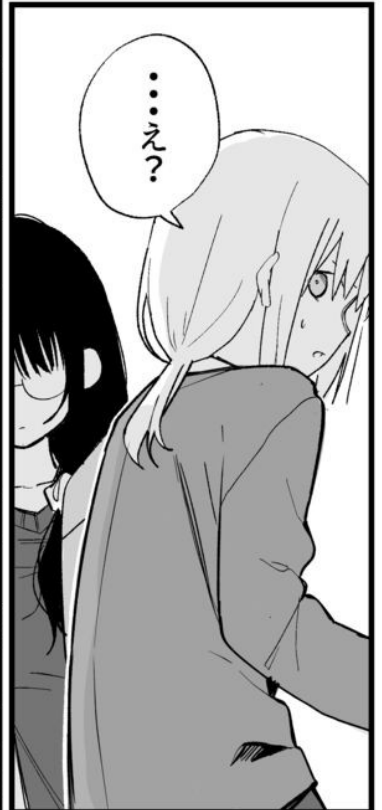
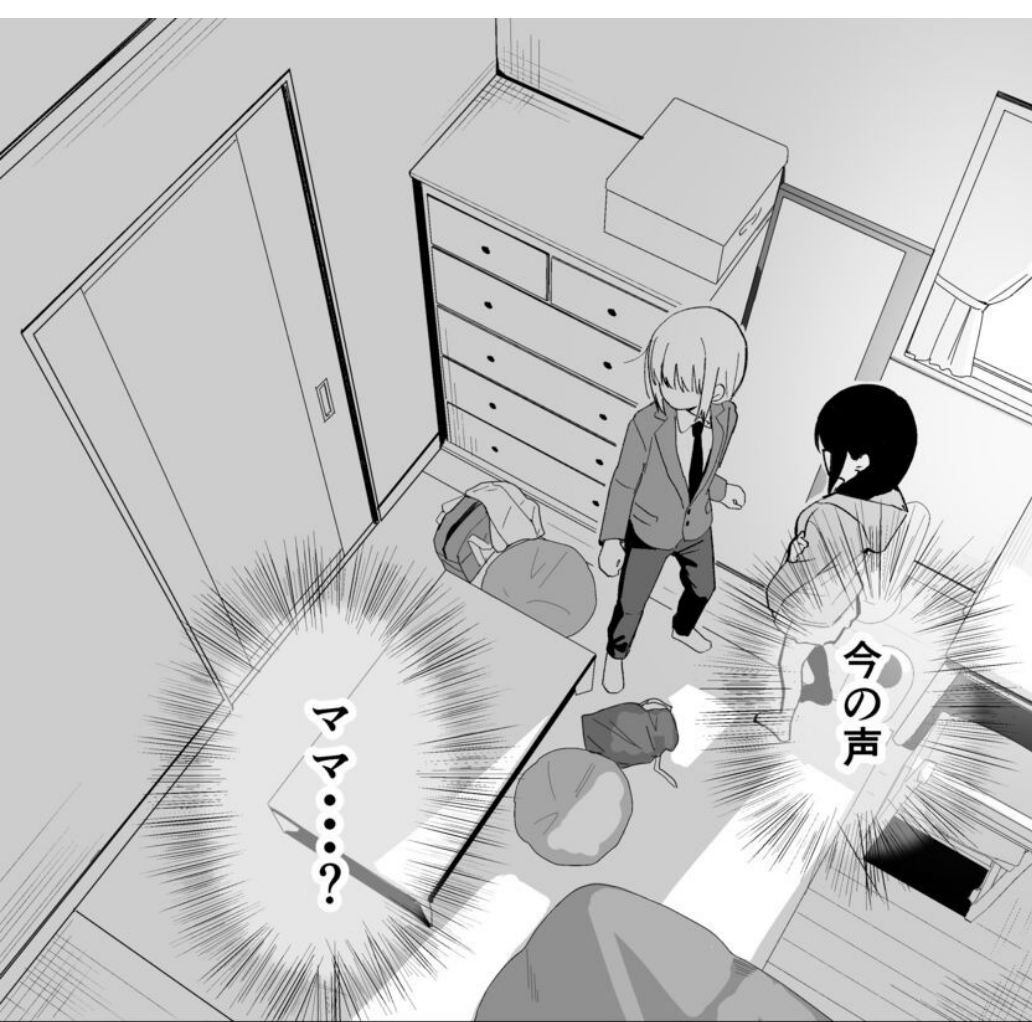
初めての……

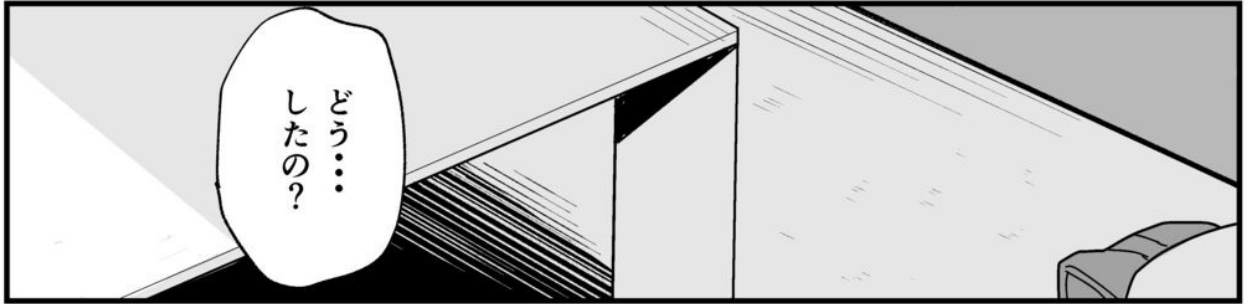
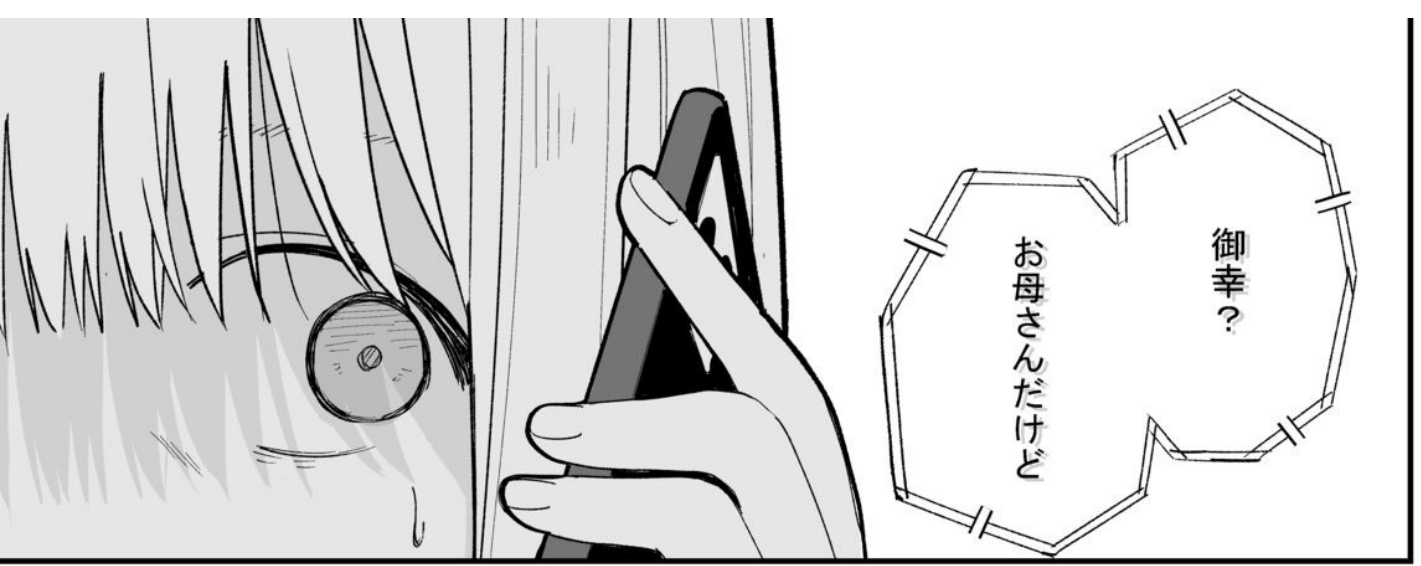


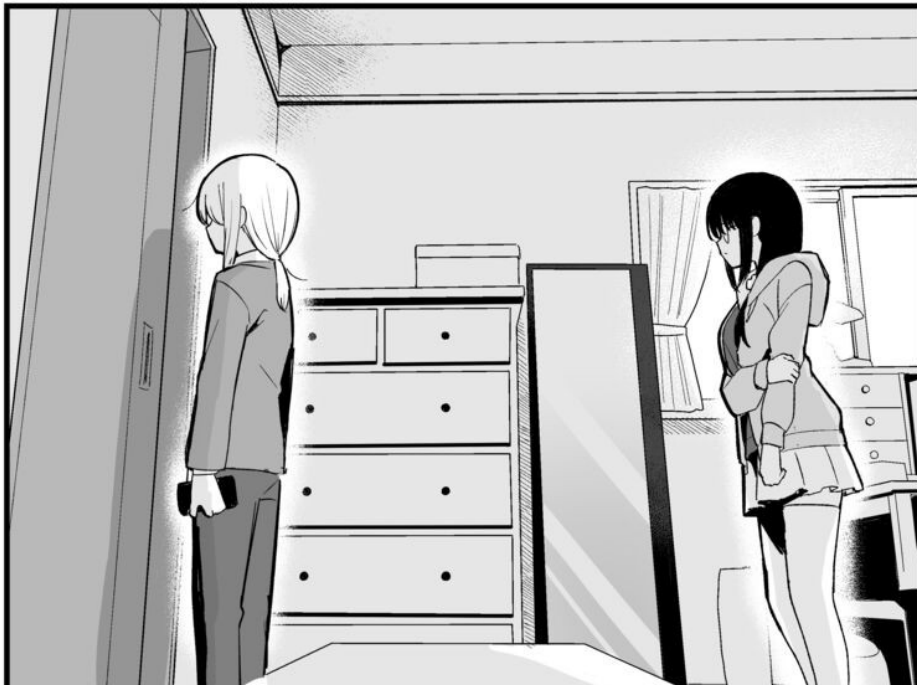
あら……
なにこれ



御幸ったら
いつも
散らかして……









宮下さん

答えて……



迷惑だったかな

お母さん今日
結婚記念日なんだね
……



どうして

こんなものがあるの？



そうしないと
付き合ってること
バラすって……

違う……

宮下さんは
嘘をついている……



実は
生徒指導の村田先生に
脅されて……

御幸君に
告白されたとき
見られてたみたい



宮下さん
良く知ってたね

僕が料理を勉強
してること

誰かのために
料理するのって
すごいと思う

なんとなく
そう思って・・・
ほら
私もお母さんの
ために料理
することあるし

あはは・・・
御幸くん

せっかく
名前で呼んで
くれたのに
もう宮下さんに
戻ってるよ

最後にさ・・・

聞いていいかな？

・・・なに？

僕さ・・・
子供の頃に矯正されて
鉛筆とお箸は右で
持つようになったんだ





どうして
そんなことっ……!!



電源は毎回ちゃんと
落とすとくべき
だったね



御幸君のお母さんが
旅行へ行くのは
明日だったかあ

なに……それ……




ねえ
何の期間だと思っ?

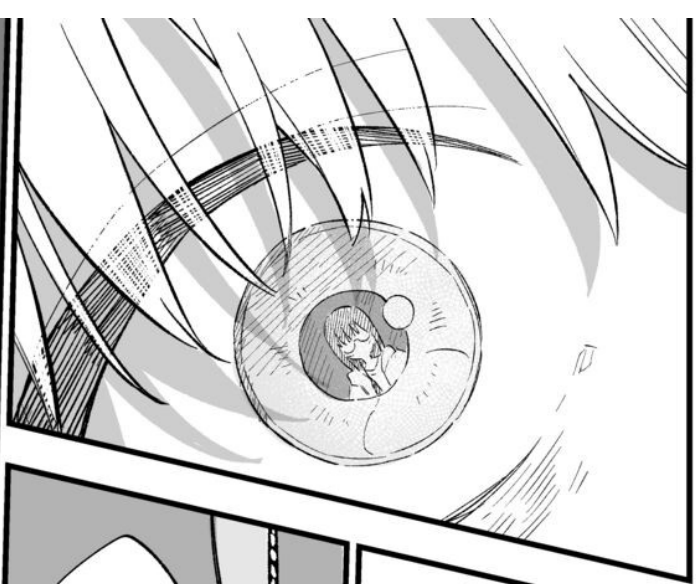


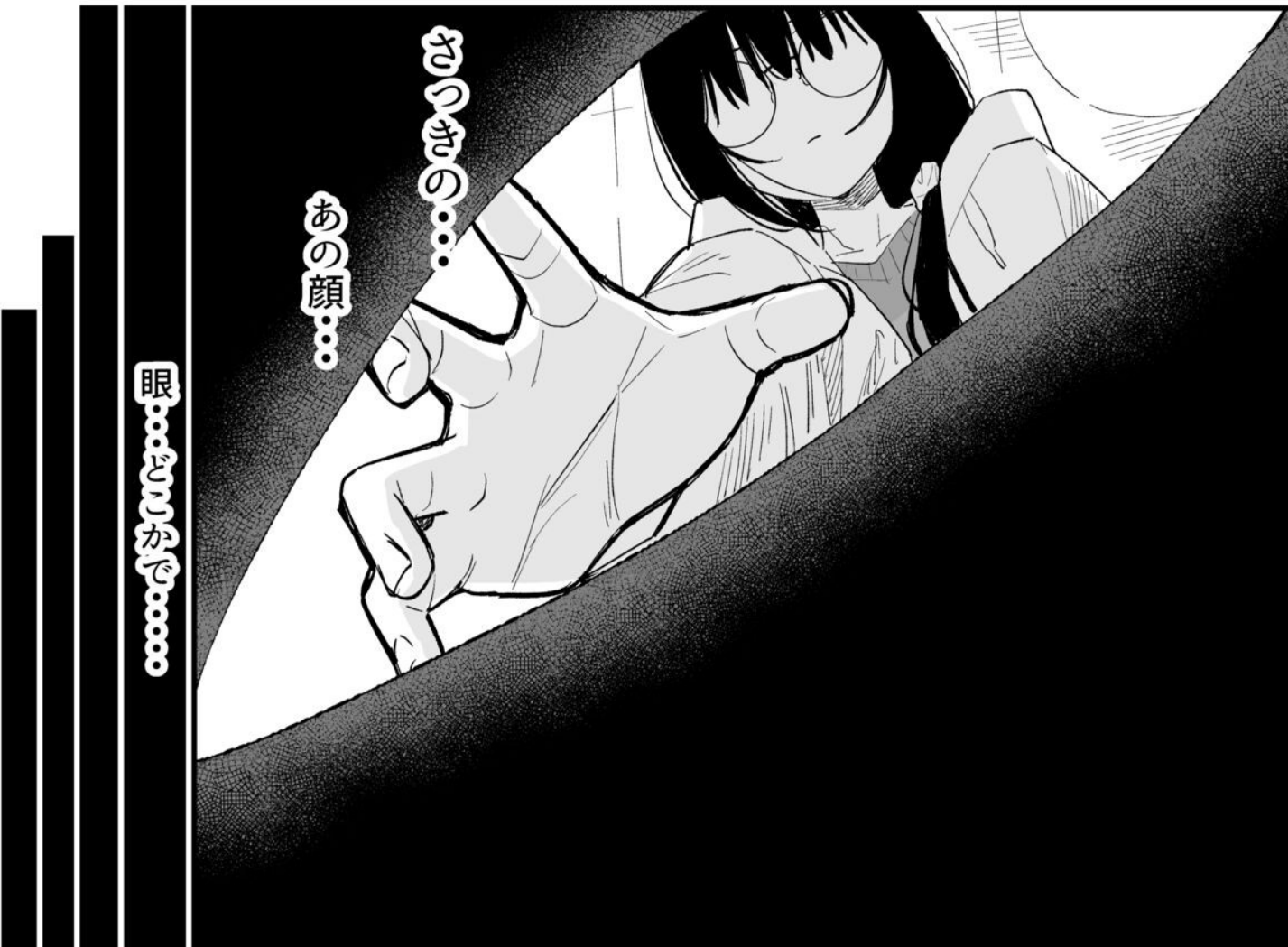
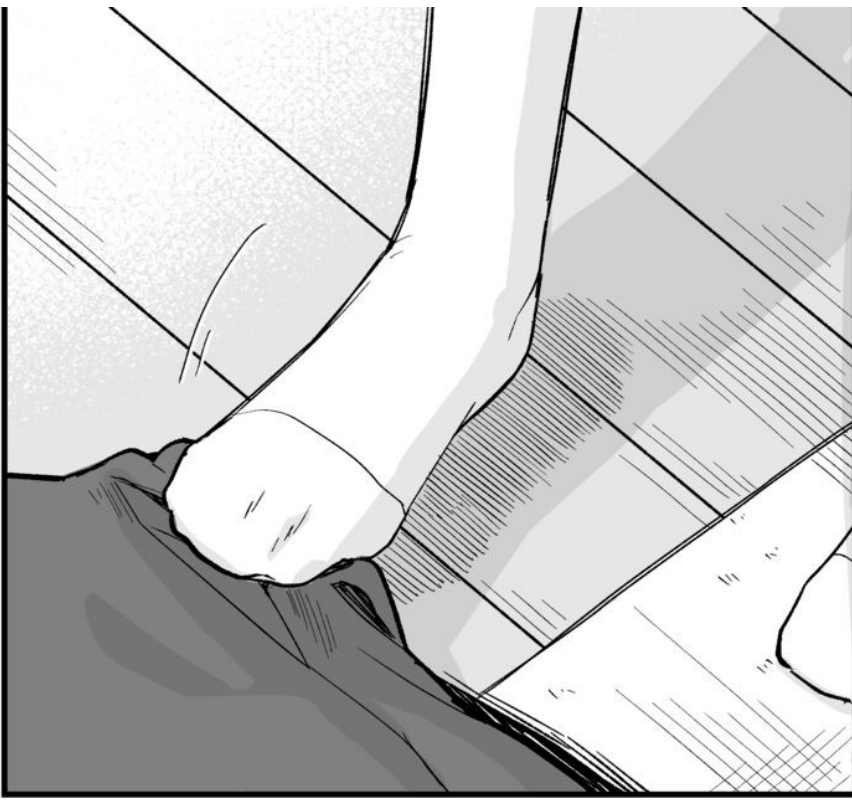
3年と2か月

え?



私が御幸君を
好きだった期間だよ







〇月〇日
天気 晴れ
〇〇〇〇年

女子更衣室



お疲れ様〜



斎藤先輩
お先です

お疲れっす



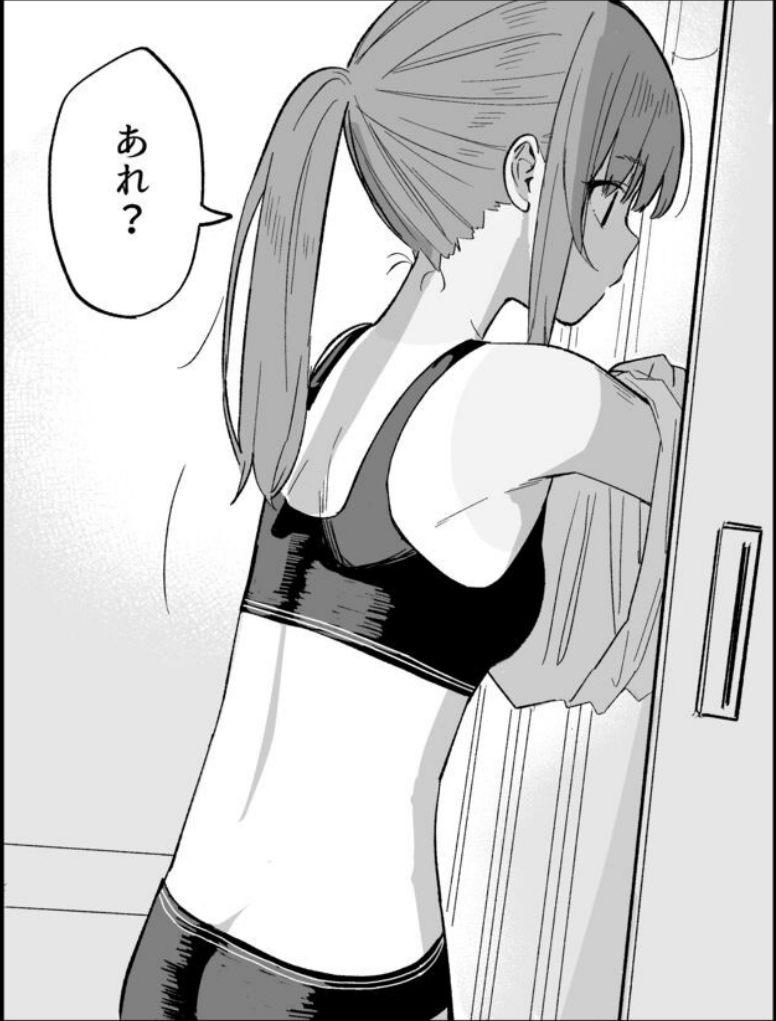
私は部活を終えて
帰る途中だった。

残暑が残る
2年の秋、



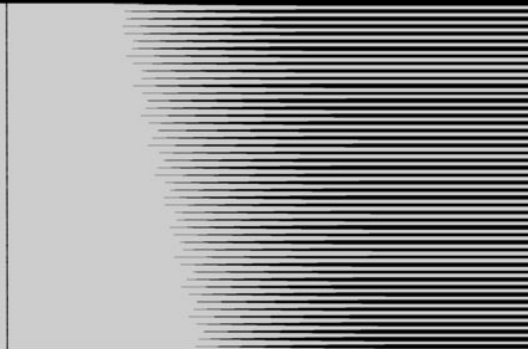
体操服

教室に
忘れたかな……



あれ？

2-5











絡みつくように
粘度のある液体、

初めて嗅ぐ
ニオイ、

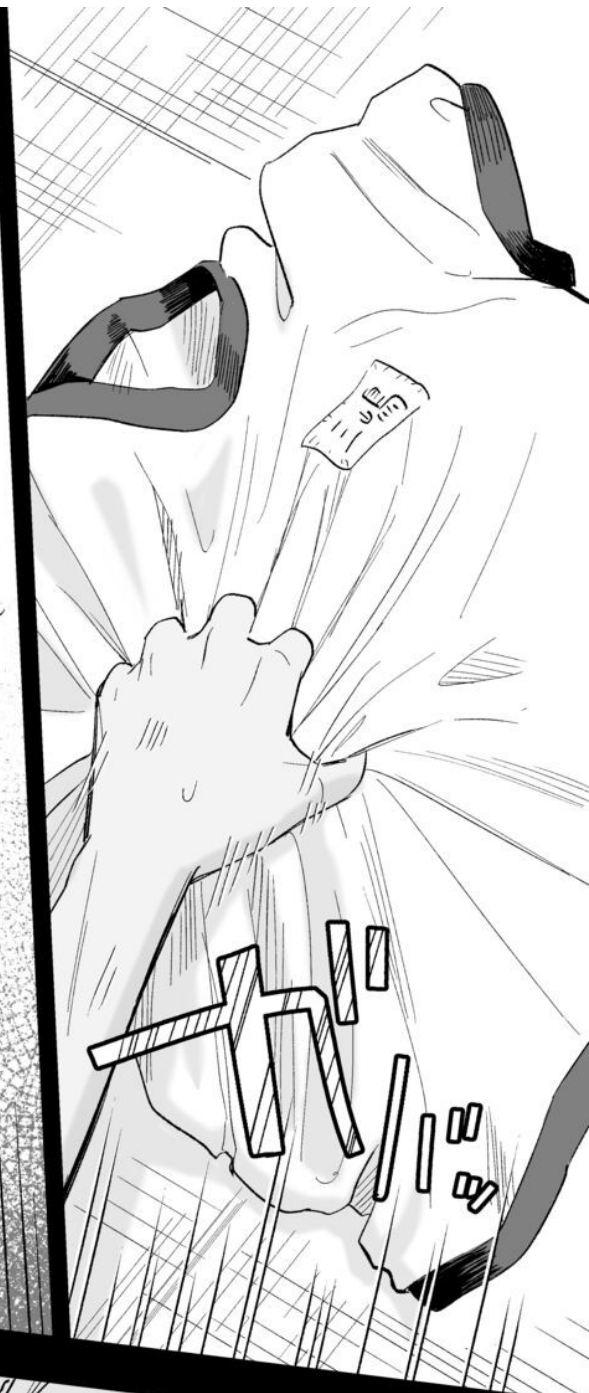
温度。



それに触れた時
私のなかに味わったことのない
感情がこみ上げてきて、

同時に体が
熱を帯びていくのが
分かった。





三嶋君が
何があったかは
すぐに察しがついた

けれどそんなことは
もはや思考の外で

私は



それから
日が落ちるまでの間、

私は三嶋君を視ながら
何度もオナニーを
繰り返した。



そうだ……

あの時の眼……







どっ…

どっ…どっ…



覚えてない？



ごめんね
まだ痛むかな

ちっ…ちがっ



ああ…ここは
両親が昔使ってた
ところだよ

お母さんは
病院で帰ってこない
から安心して



僕は美羽子ちゃんのことを以前から知ってるの？

斎藤佐和子……苗字も名前も違う

……だめだ色々なことがありすぎて理解が追いつかない

チキンはびっくりしてさっさと強くすまわせたかな？



日記を読み返してたら思い出したの



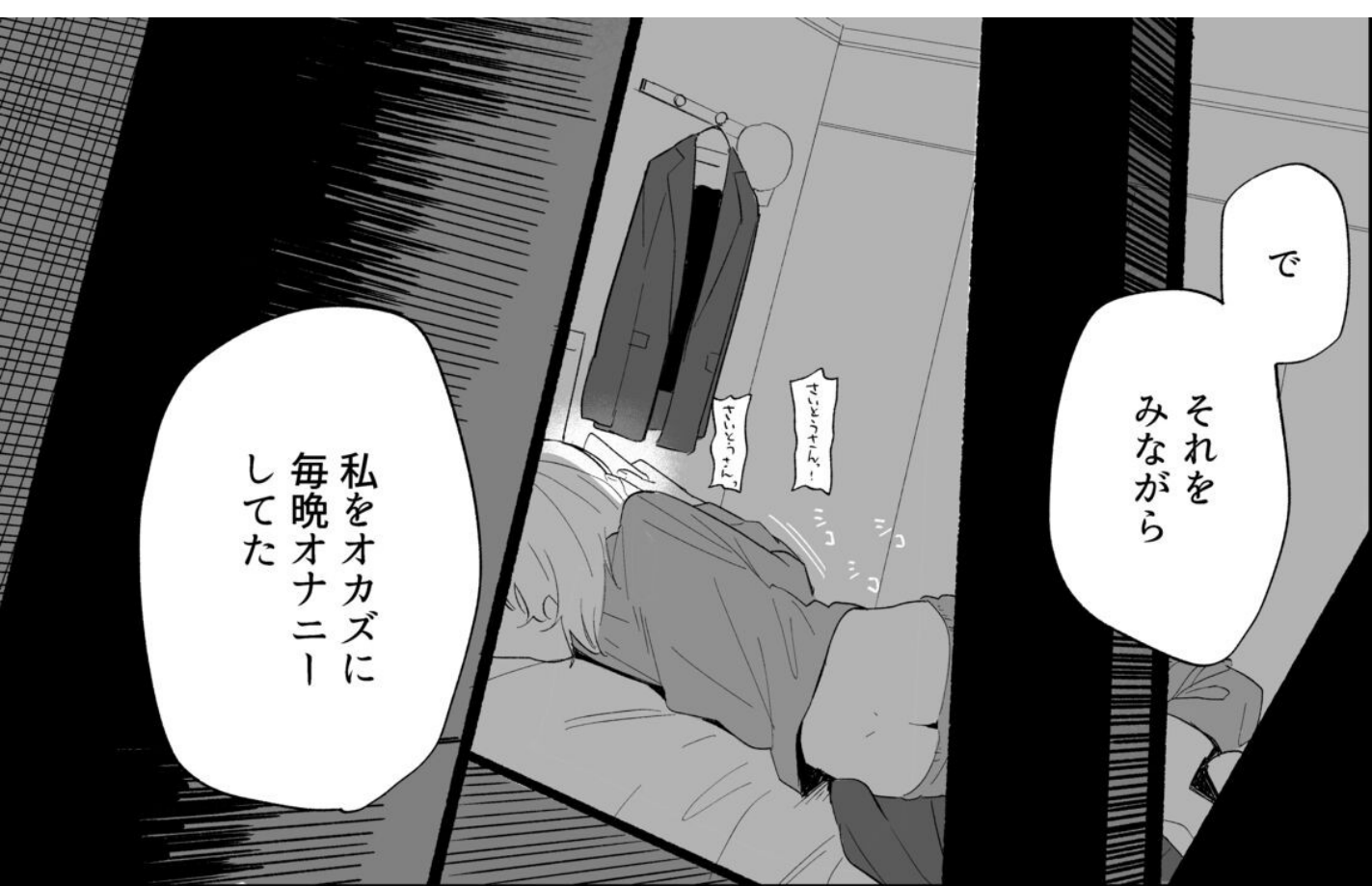
そうだ

これ



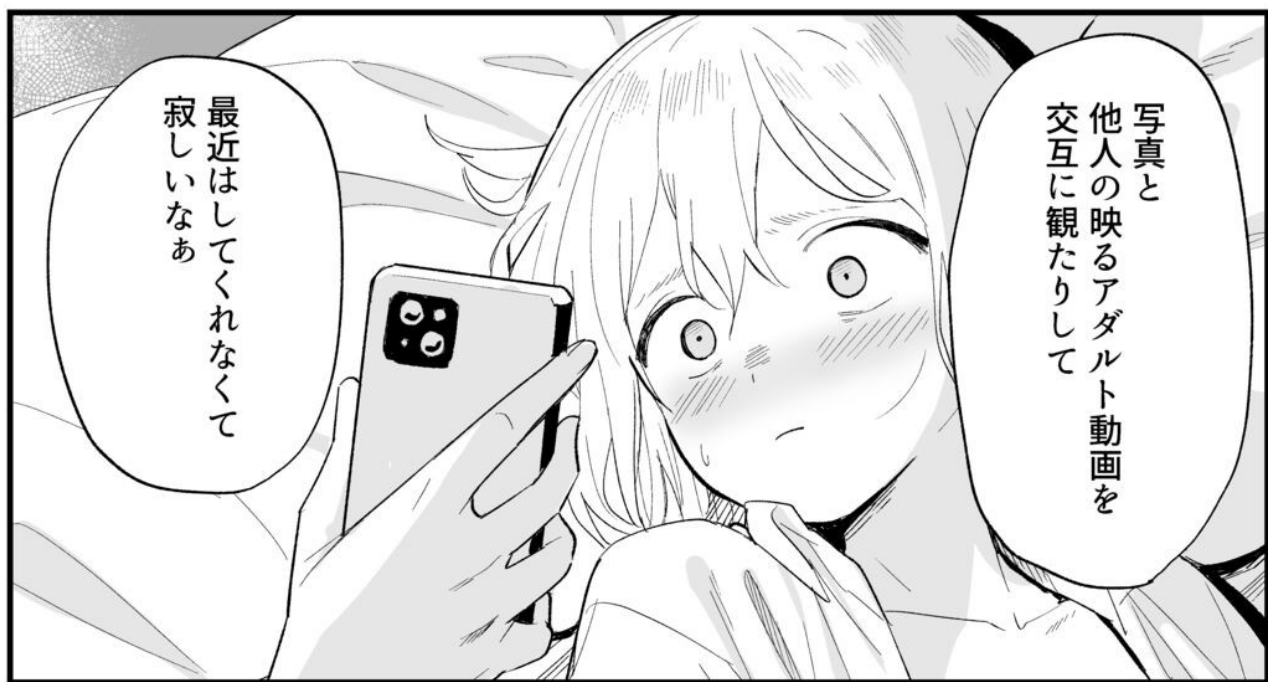
体育祭の時の写真

財布の中にいつも持ち歩いてたよね



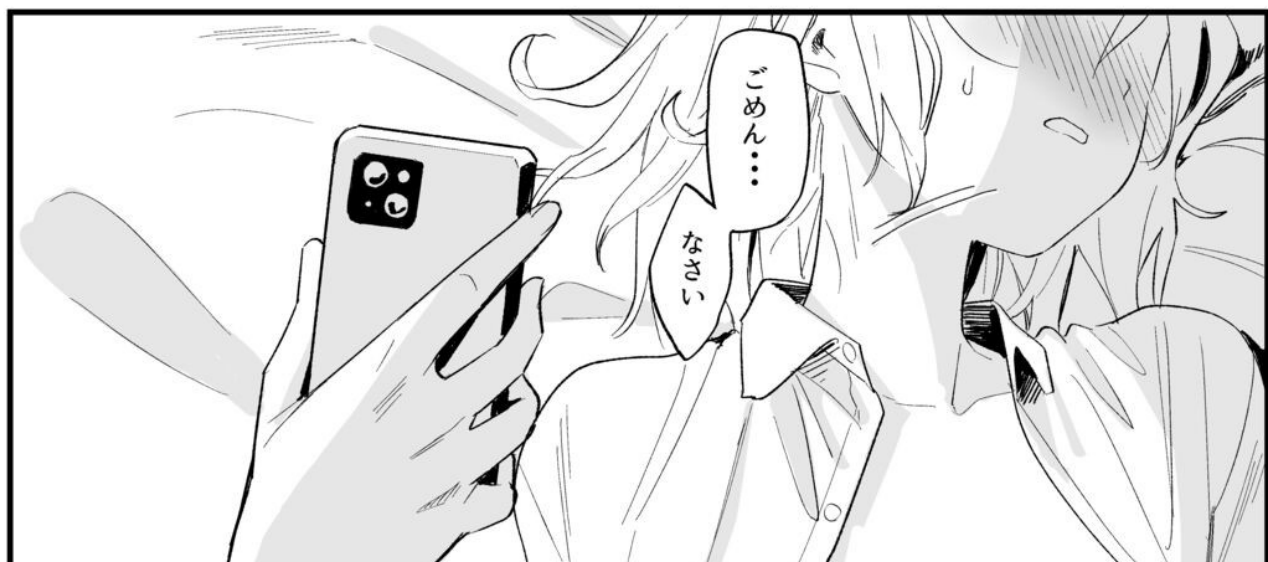
私をオカズに
毎晩オナニー
してた

で
それを
みながら



最近はしてくれなくて
寂しいなあ

写真と
他人の映るアダルト動画を
交互に観たりして



ごめん…

なさい



私達……

両想い
ってことでしょ？



どうして？
謝る必要ないよ

だって

それってつまり……



ねえ
御幸くん……



だから...

フッ



もう...

良いよね?

じゅわ



あぁ...

へえ...

御幸君って皮被ってるんだ

いつも画面越しだったから知らなかった



だっ...めっ

カチャ

こんなの...



私を思いながら

ずーっとこうやって我慢汁垂らしてた



こんなの...



こんなの美羽子ちゃんじゃない

だって僕の知ってる美羽子ちゃんは



優しくて……

知的で……

真面目で……

笑顔が可愛い
斎藤……佐和子……



宮下美羽子……

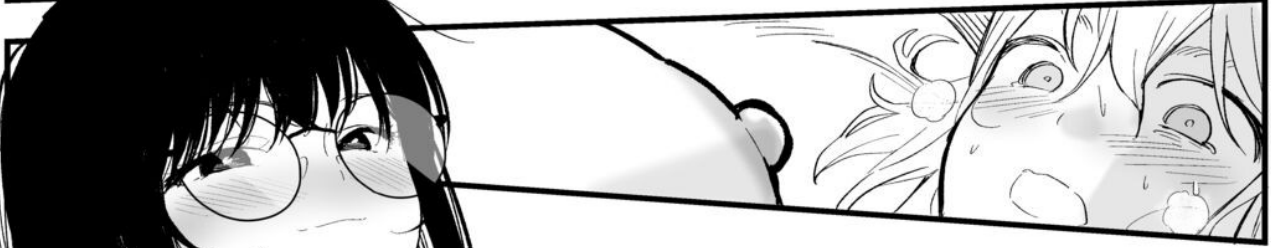
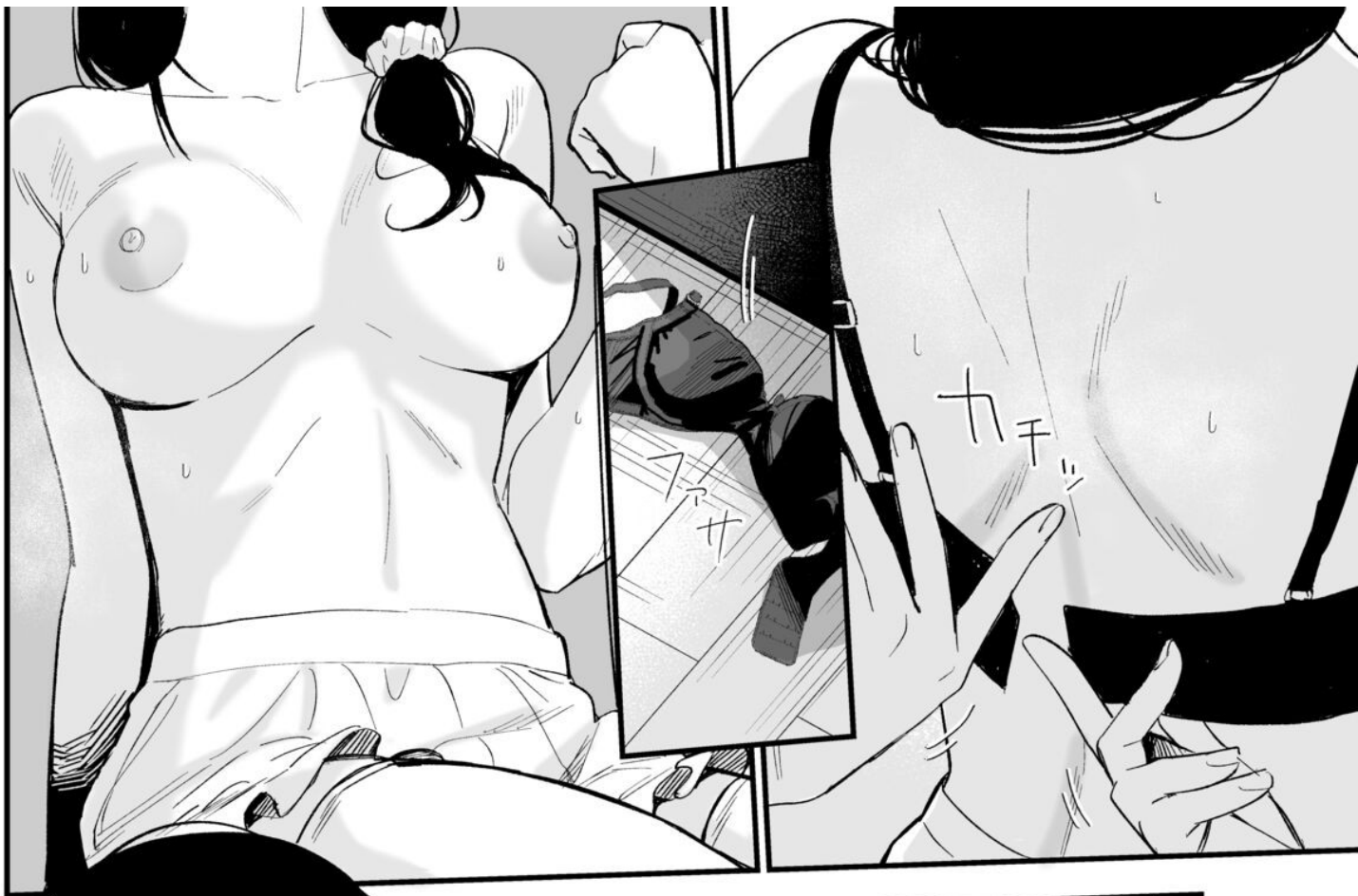
……って
誰だっけ……？



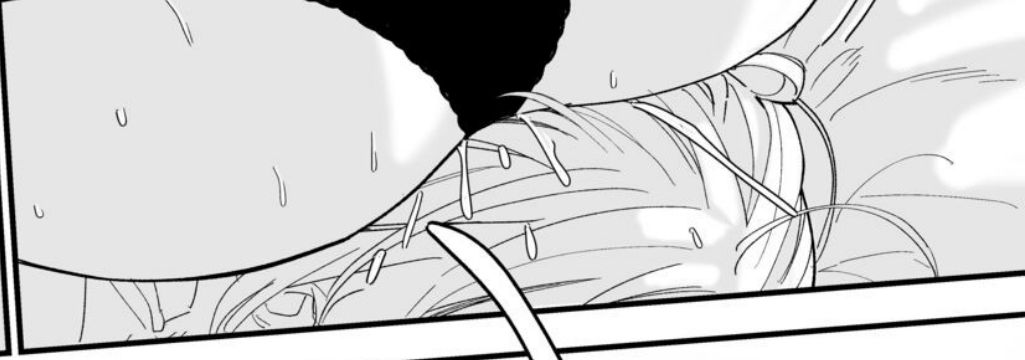
あ……

……れ……？















御幸君は
普通じゃないでしょ？

え……？



変わり映えのない
毎日を送っている
周りの奴ら
とは違う
御幸君に
酷いことを
してきた
奴らとは違う

そんな普通と
一緒にしちゃ
ダメ



だって御幸君は

特別だから



特別？

そう…

特別



だから

教えて

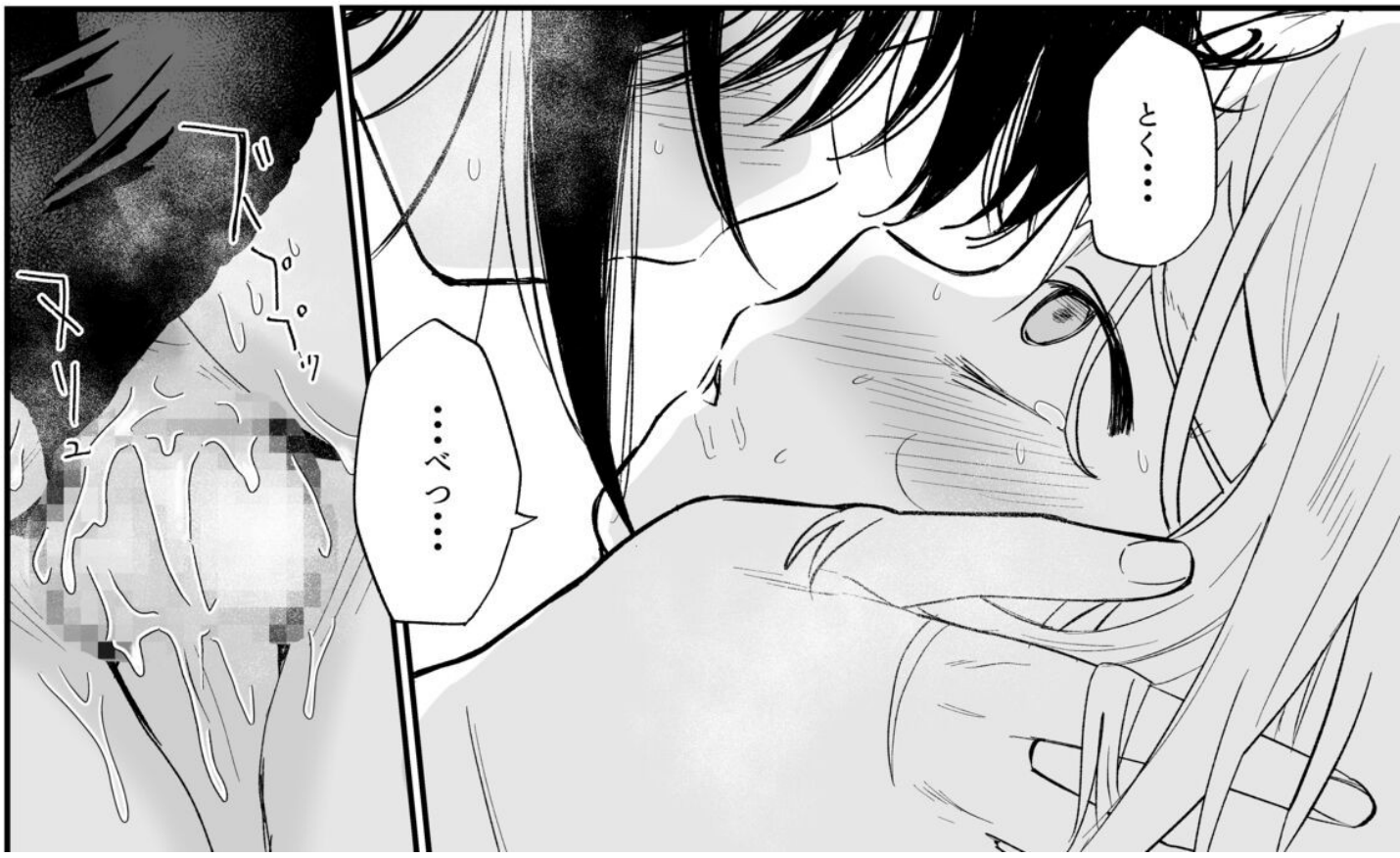
私の知らない

御幸君の
特別だった
日々のこと

その時の
気持ち

知りたいの

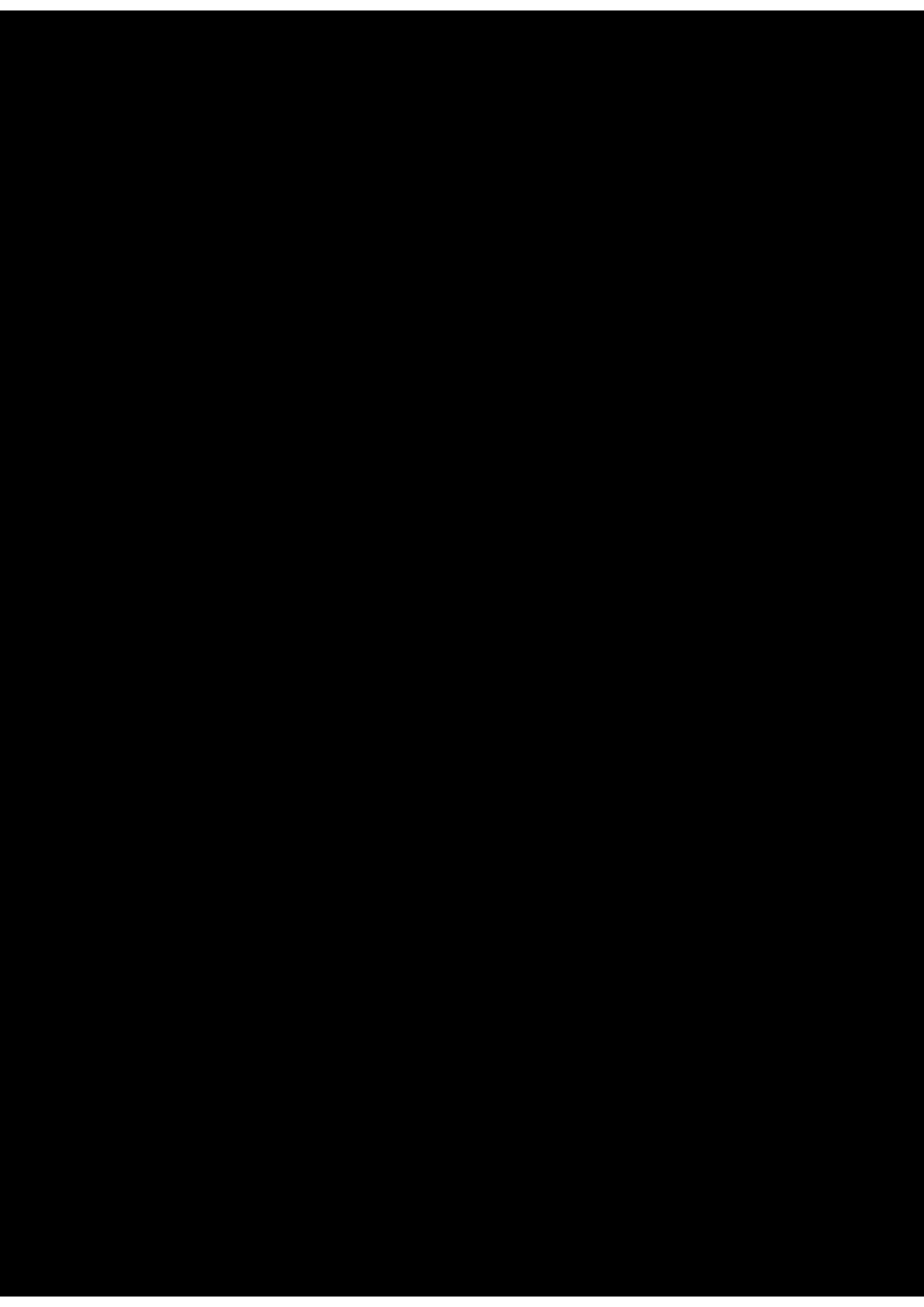
だめ？



とく…

…とく…











ちよっ
制服に
かかった
んですけど

本当に
潮吹いてん
じゃん

キモすぎ

男のくせに



何度飛び降りる
決意をしただろうか

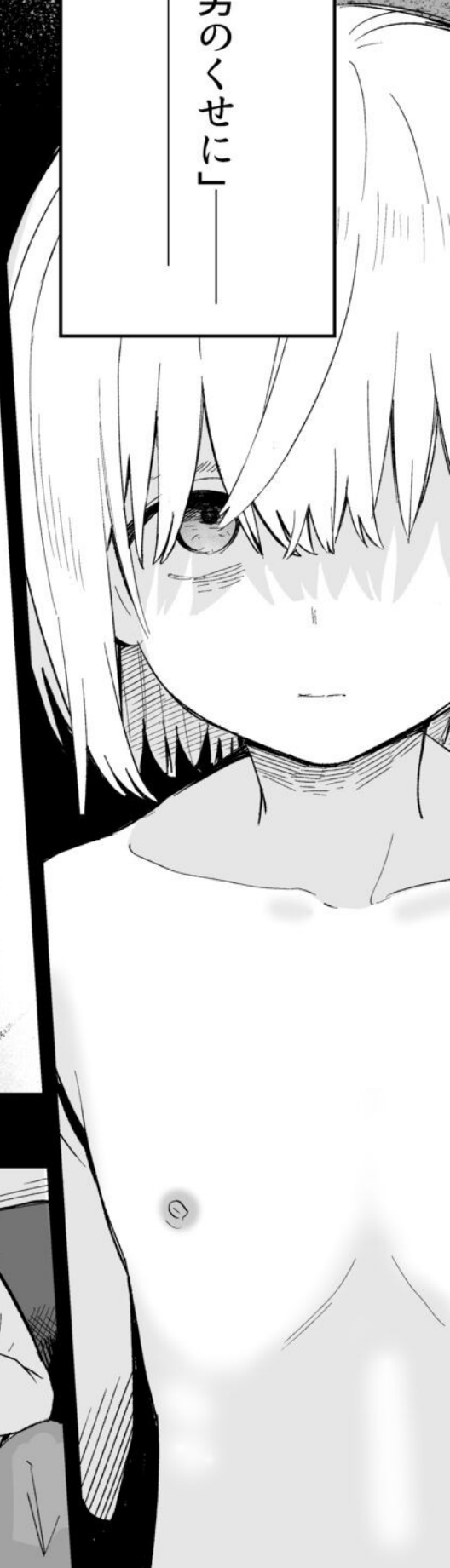
周りから
そう言われ続けて

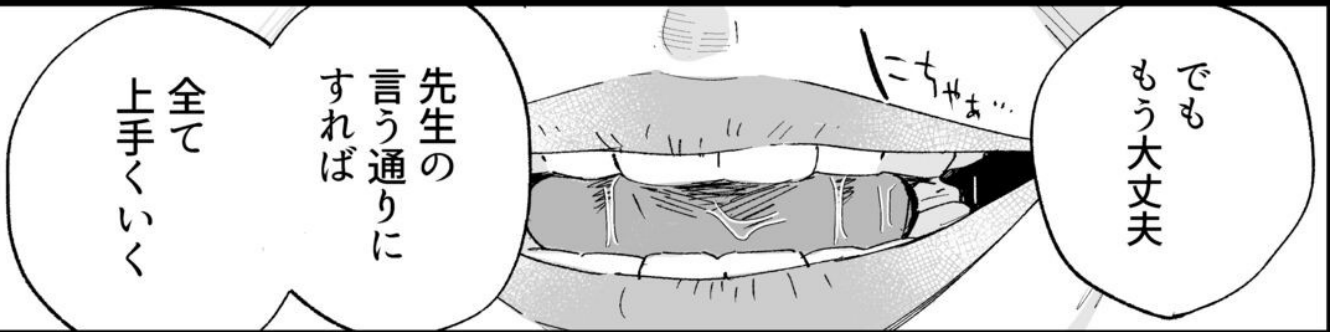
「男のくせに」

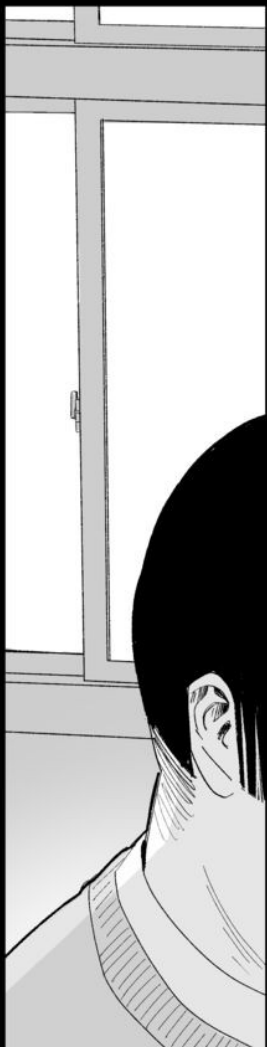


けれどその度に
彼女の笑顔が
僕を引き戻してくれた

それだけが唯一の
支えだった





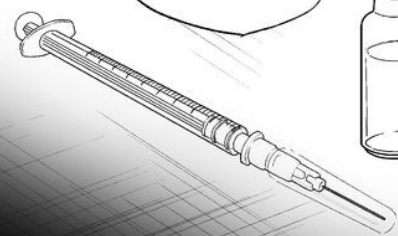




良い子だ

こ…
こうですか？

あとでのご褒美に
御幸専用の
お薬をあげるからね



御幸っ！



射精すぞっ！





ちゃんと
全部飲みなさい

ほら最後まで



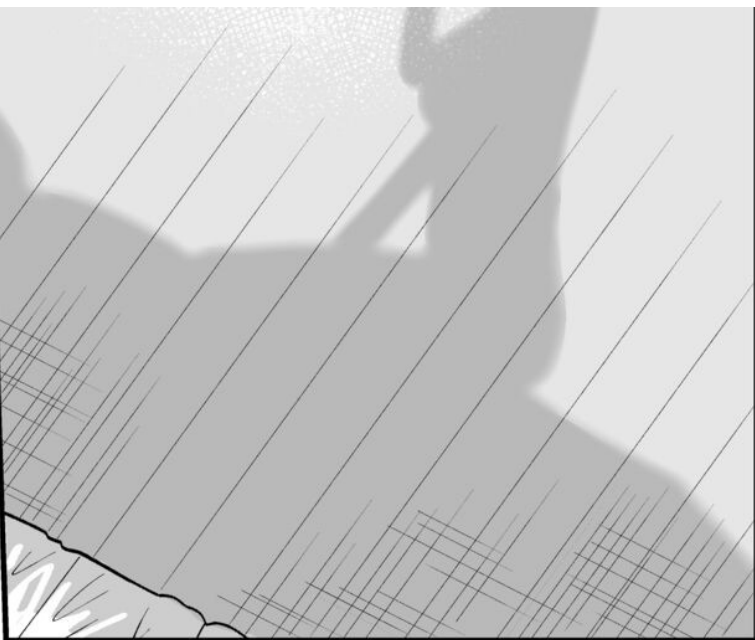
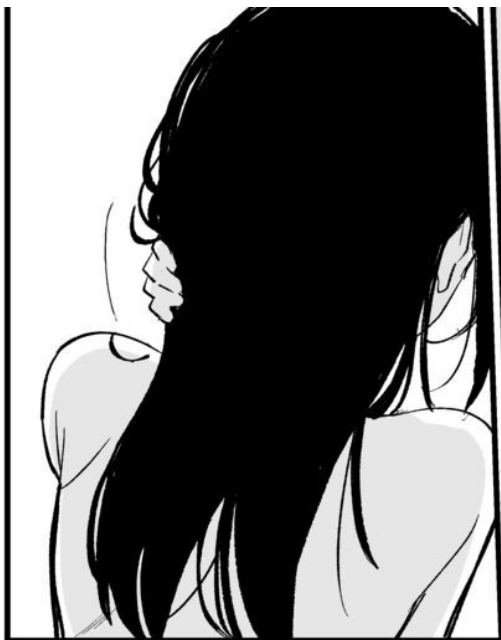
それじゃあ



女の子としての
貫通式だ

これで
身も心も女の子に
なれるからね





たった一人で……



そっか

この身体は
村田のせい……

御幸君はずっと
苦しい気持ち
必死に耐えてきたんだね



よしよし

頑張ったね





ボク頑張った

うん

すく...

頑張ったんだ

辛かったね

何度も

何度も...

よし

よし

もう
だめかと...

大丈夫

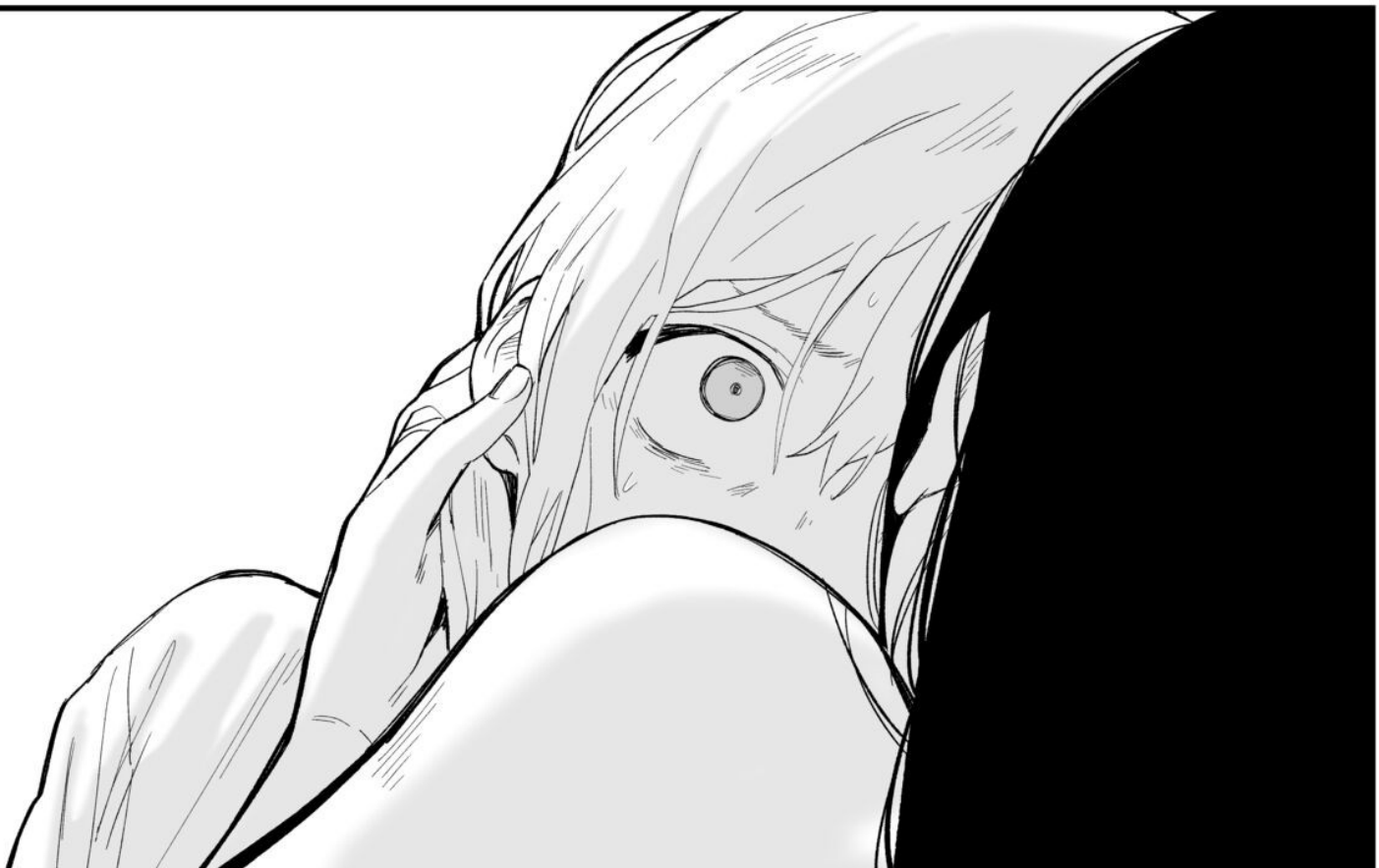
大丈夫だよ

そうか...

僕は何一つ
間違ってたなかった

ちゃんと伝わってる...

分かってくれる...





今…
なんて言ったの？

え？
だからあんなに
酷いことするなんて…



視てたの？
生徒指導室でのこと

あれ？
失神してて
聞こえなかった？



じゃあ
もしかして
3年前のときも…

日記に書いてあるし
映像も…



御幸君のことは
何でも
知りたいから



生徒指導室に
あらかじめ設置
しておいたの

リアルタイムで
一部始終
視れるように





だったらどうして

そんなに
嬉しそうなの？

え？



あ…

あれ？

どうしてだろ

そんなことない

私今とても

苦しい

苦しいよ

苦しいはずなのに…

おかしいな

どうして？

私の

大好きな
御幸君が…

御幸君が…？

フ…

ガニ…

カチカチ…



逆にどうして縛るの？

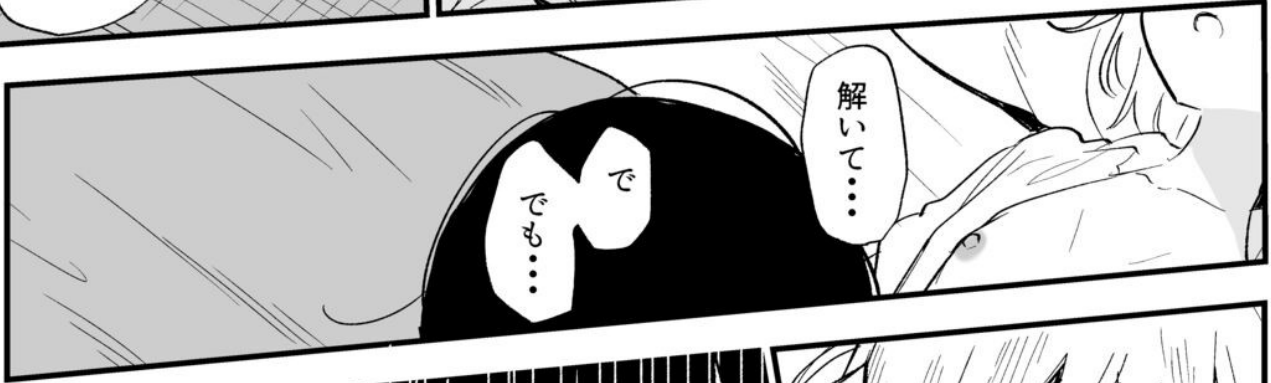
ど…どうして？

それは御幸君が逃げ出さないように…



拘束

解^{ほど}いてくれないかな

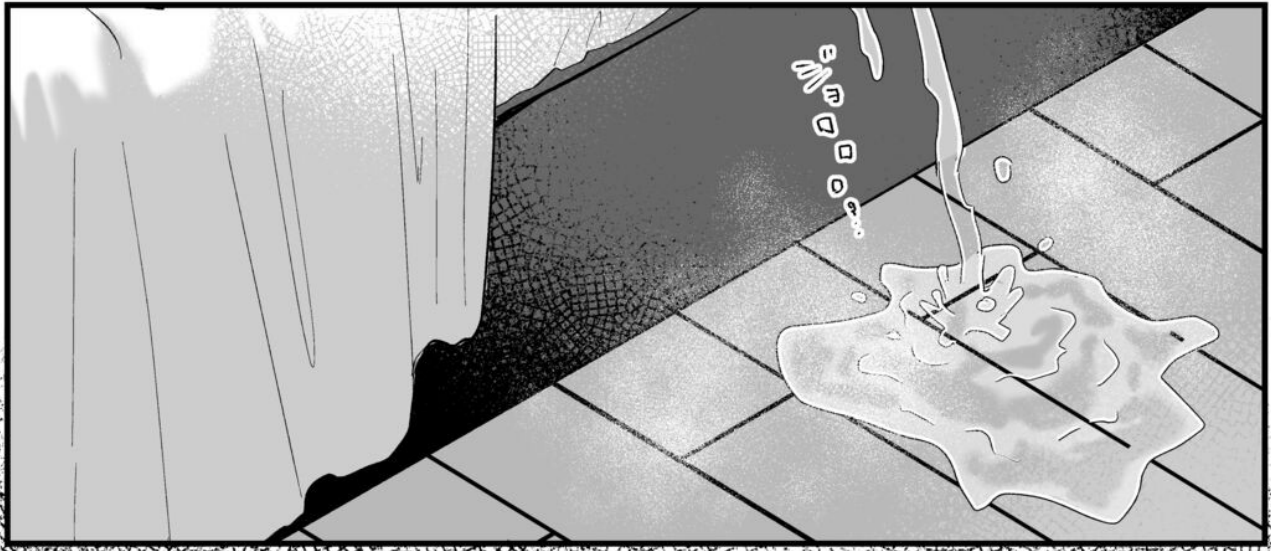
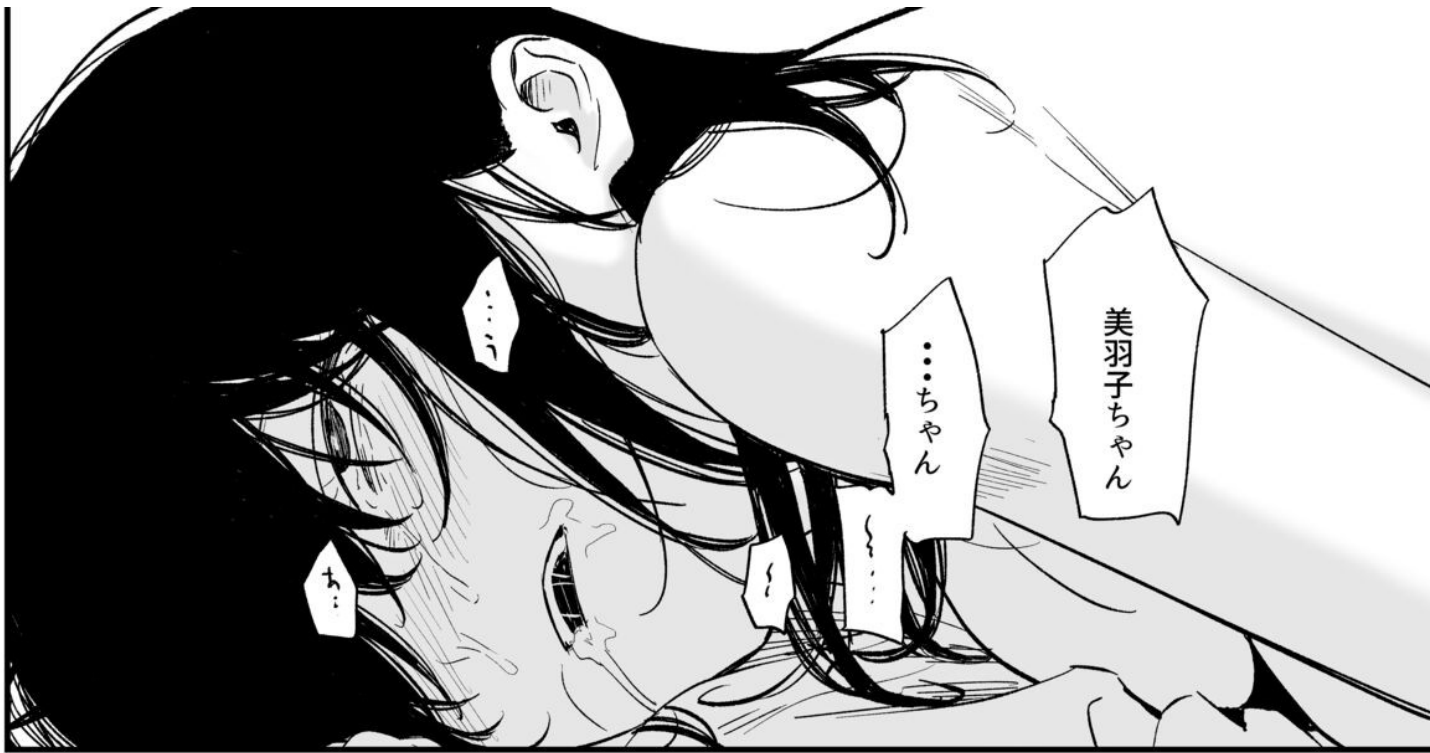


解いて…

でも…



解いてよ!!







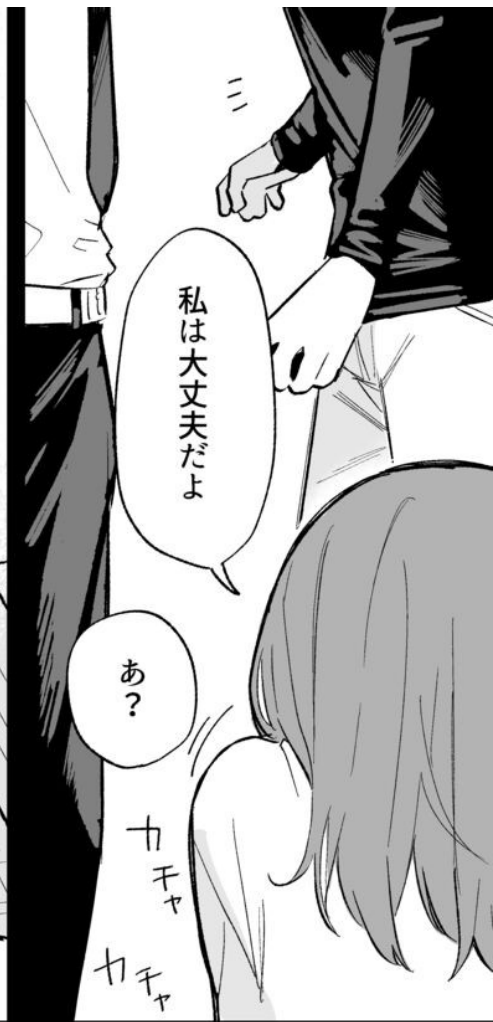
お母さんごめんなさい

次から私の食器は
3段目に置くから

もう絶対に
しません

あはは

些細なことでも
母は私を罵倒した。



私は大丈夫だよ

あ？

カチャ
カチャ



完璧を求められて
いるのだと思った。

だって二人には
育ててもらって
いるから。

私が頑張れば
いい……

だから私は
何においても
全力で取り組む
ことにした。



おかあさん








7組の三嶋君。




彼と
出会った時、


心の中のモヤモヤが
スーッと
消えていくのが
わかった。




私より
惨めな姿を
している




私より
心に深い傷を
負っている



私より
ずっと醜い顔を
している



私より
辛そうな彼



私より
不幸な彼から
目が離せない



私には御幸君が必要





だって
仕方ないでしょう？

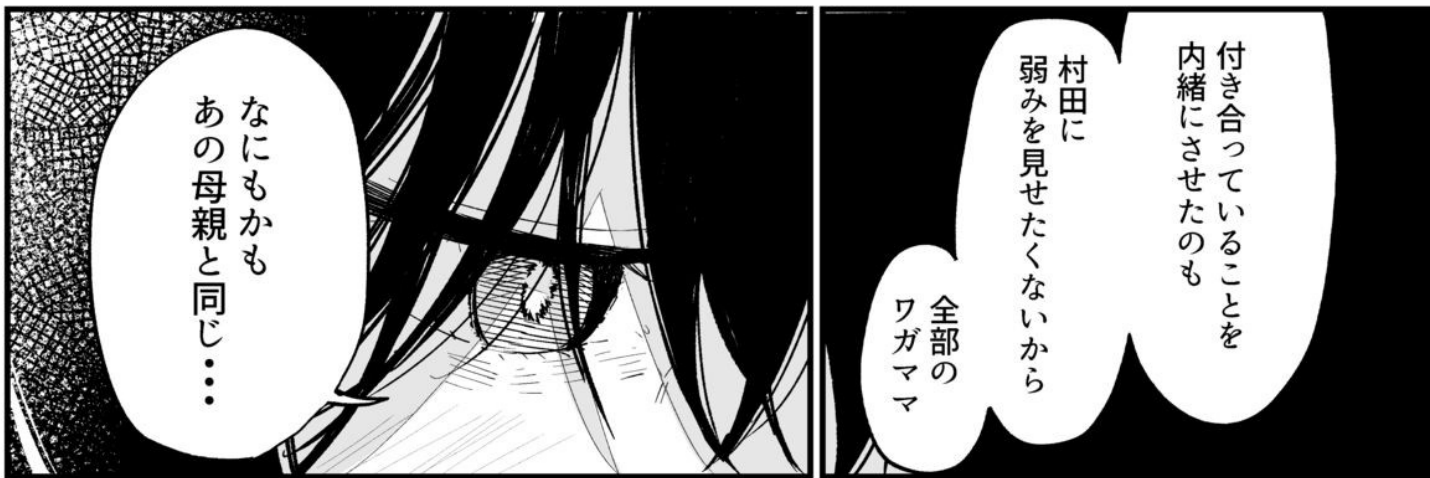
あの夫婦は
他人同然で

私は養われて
いるだけの存在
だった

それに…

…ううん

だだの言い訳



付き合っていることを
内緒にさせたのも

村田に
弱みを見せたくないから

全部の
ワガママ

なにかも
あの母親と同じ…



本当は
気付いてた

気付いていながら
私は
抜け出せないほど
あなたに依存していた

後は御幸君の
好きにして

私はどんな罰でも…

一緒なんかじゃ
ないよ



美羽子ちゃんてさ

そんな私が
今更……

私が御幸君に
向ける目は
ずっと歪んでいた

でも



僕達は
ずっとお互いを
必要としていた



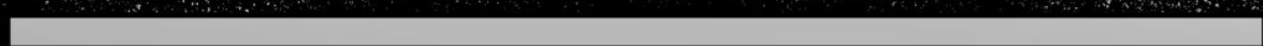
え？

美羽子ちゃんが
知らないこと
あったよ

僕の事
何でも知りたいん
だよな？



僕が
美羽子ちゃんを
好きだった期間





大丈夫？

始めは僕にだけ
優しいのだと
勘違いした

身体あんまり
良くないんだよね？

けれど彼女は
誰にでも笑顔
振りまいていた

…そんなことは
どうでもよかった

たまたま
先生と話してる
ところを
聞いてちゃって…

つっぴやんと
じゅんじゅん…

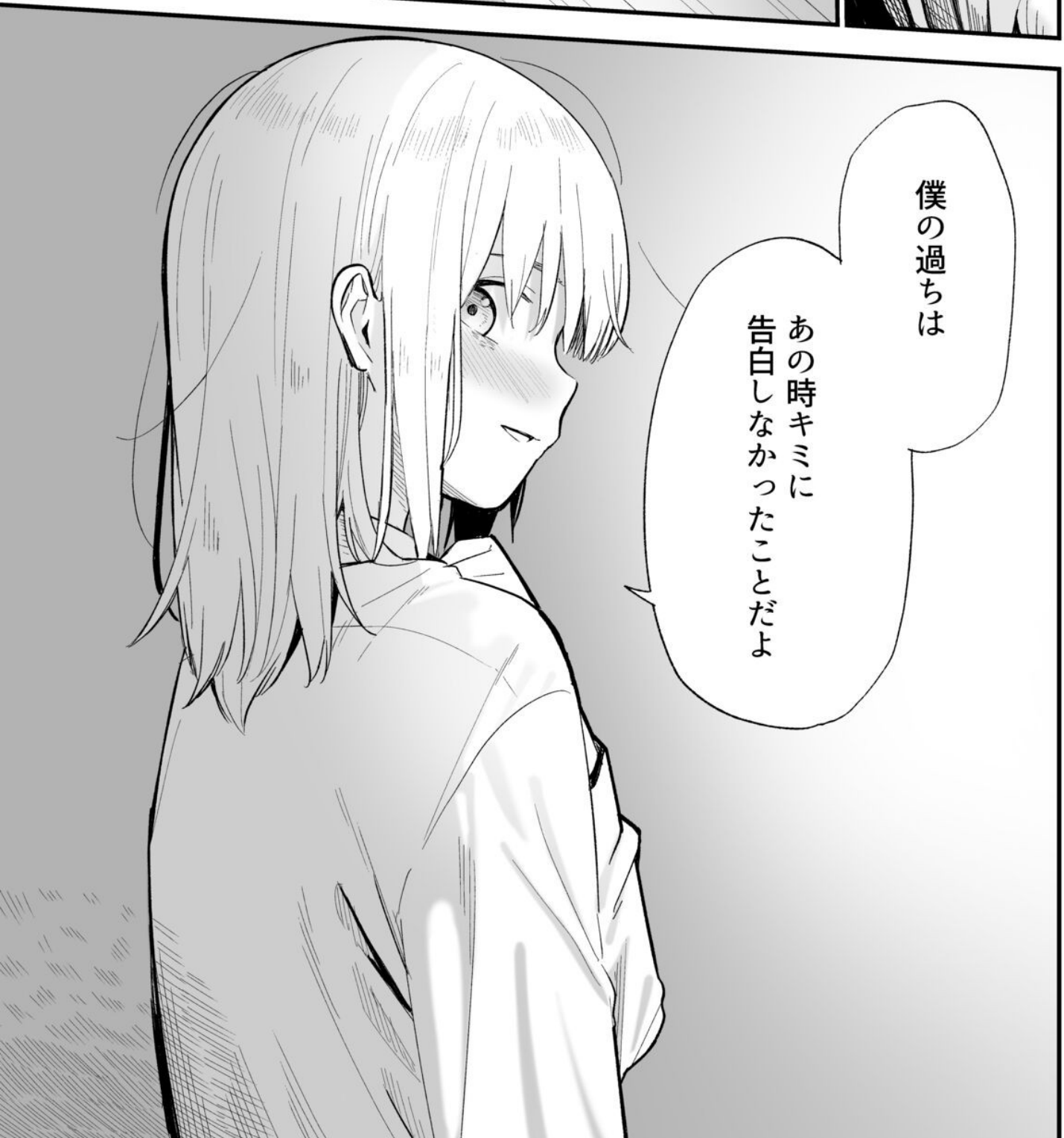
僕にとっては
この笑顔だけが



4年と3か月

苗字と名前が
変わって
気が付かなかったけど

僕はずっと
彼女の笑顔に
救われていたんだ



僕の過ちは

あの時キミに
告白しなかったことだよ



まあ……
美羽子ちゃんの方が
ウンだったら
話は別なんだけどさ
ア……



僕の方が
長かったね
好きだった期間

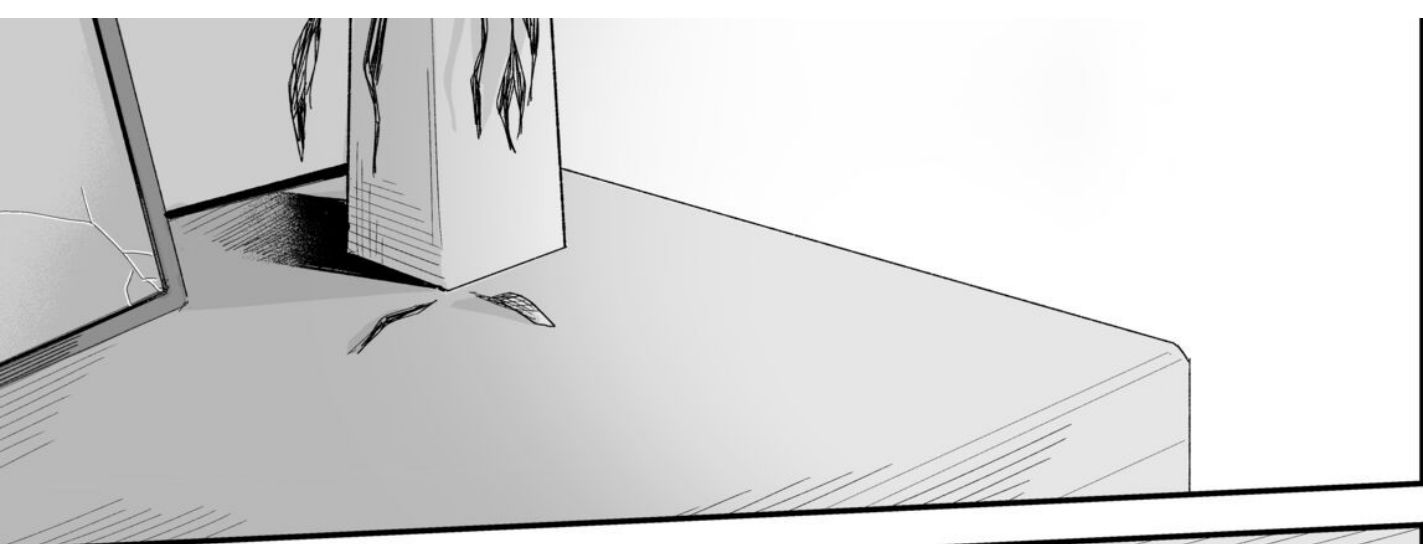


……
……



私も

大好き





始めは
自分を慰めるため
だけの存在だった

けど御幸君のことを
ずっと視ていくうちに

知っていくうちに……

……好きに
なっていた



運命だと
思った

同じ学校で
御幸君を
見つけて

そのあと
告白されて……



けど結局
同じことを
繰り返して

私は……

いいんだ……

もう





いよいよ

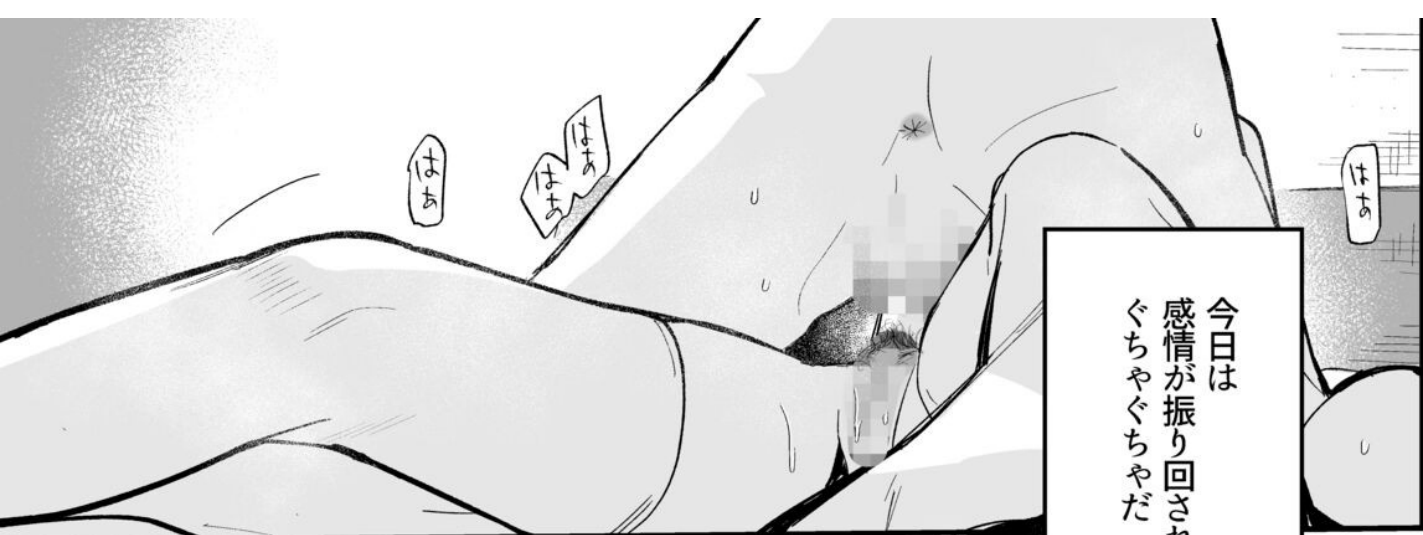


でしょ？

今更...



美羽子ちゃんっ!!



今日は
感情が振り回されて
ぐちゃぐちゃだ



御幸君の…
好きにして



けどもう
そんなことは
どうだっていい

は…
は…
は…



すっ

だって…



ひび

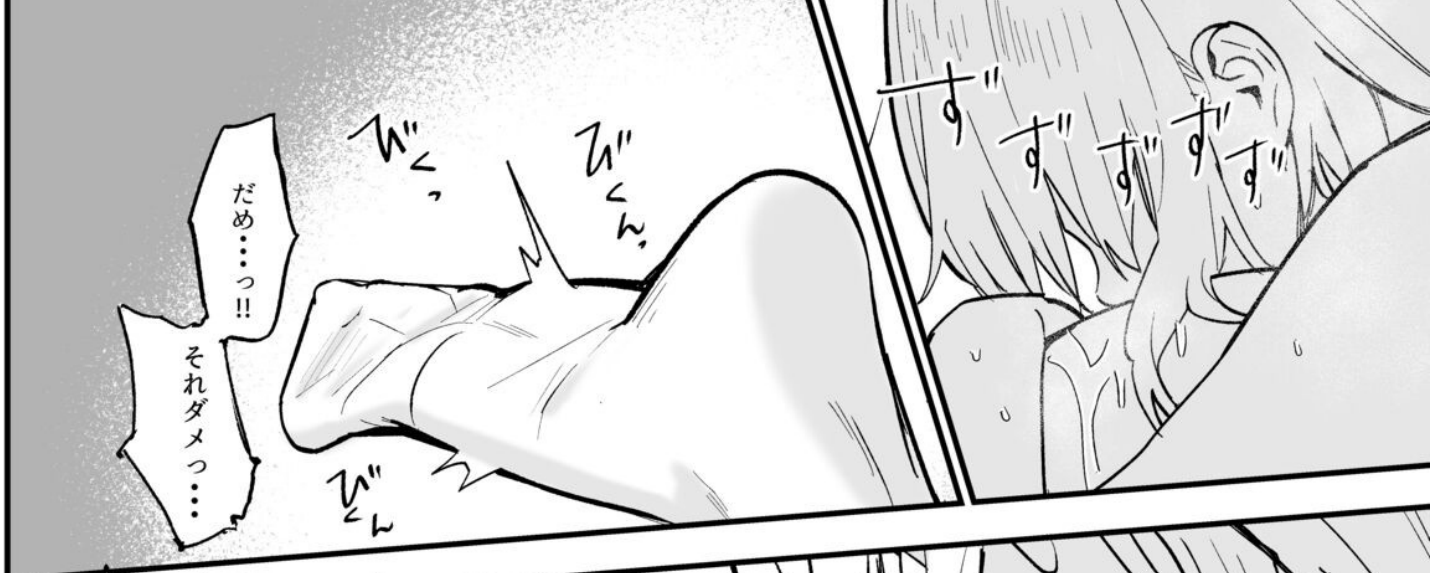


美羽子ちゃん!



好きな子が
僕を視てくれて
いるんだから









好きにしていって
言ったのは

美羽子ちゃん
だよ



ずっとずっと
こうしたかったんだ

美羽子ちゃんの姿を
目で追いながら

毎晩
妄想オナニー
してた



知ってるよね

僕のことなら

なんでもい



!?

?

?

?

?

??

?

だ！
あ、あ...

スル

??

?









3年前
あの教室でさ...

日記では
うやむやにされてた
けど...



美羽子
ちゃん

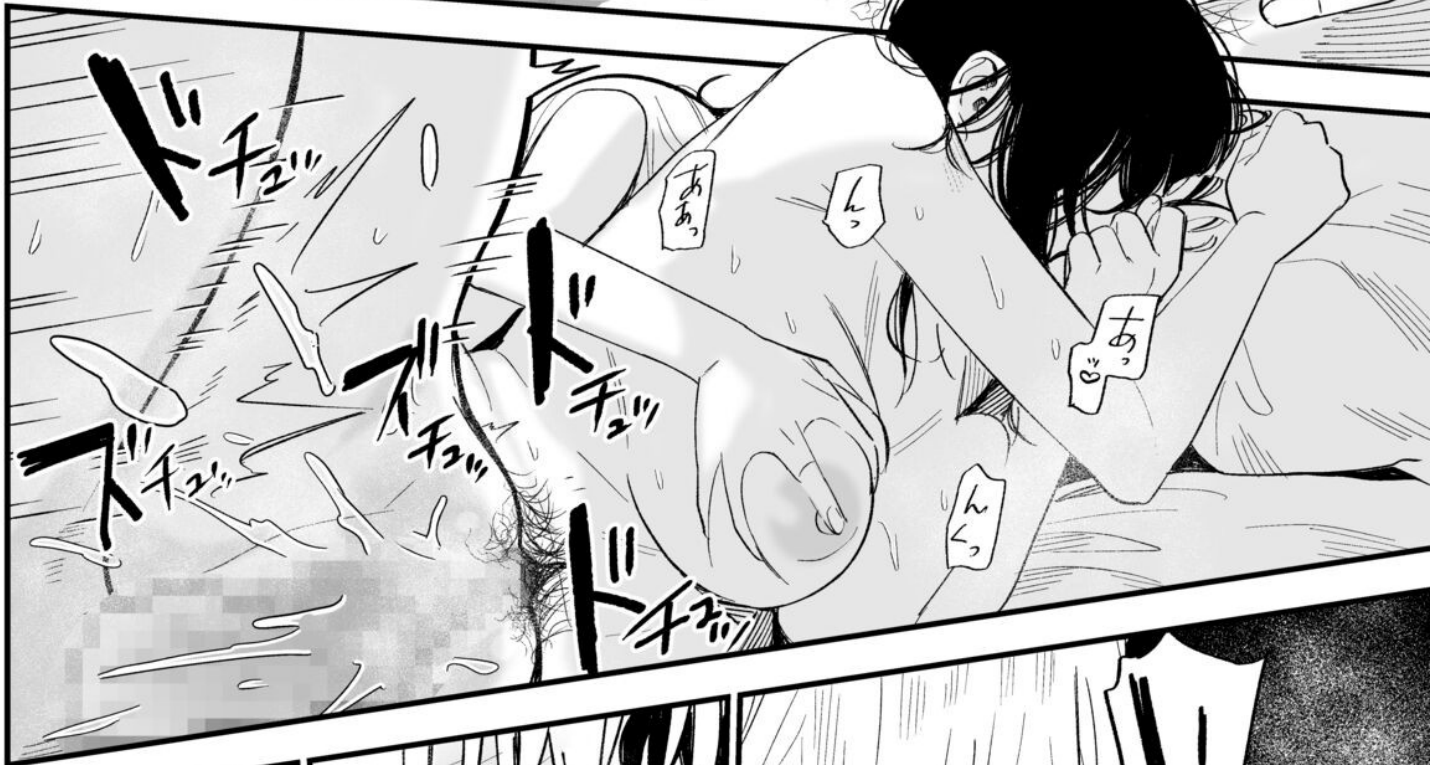
いまエッチしてて
気になったことが
あるんだ

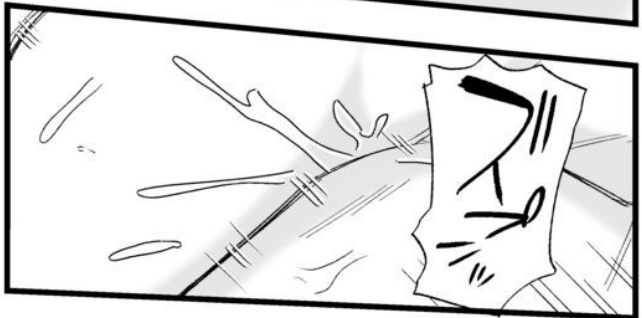
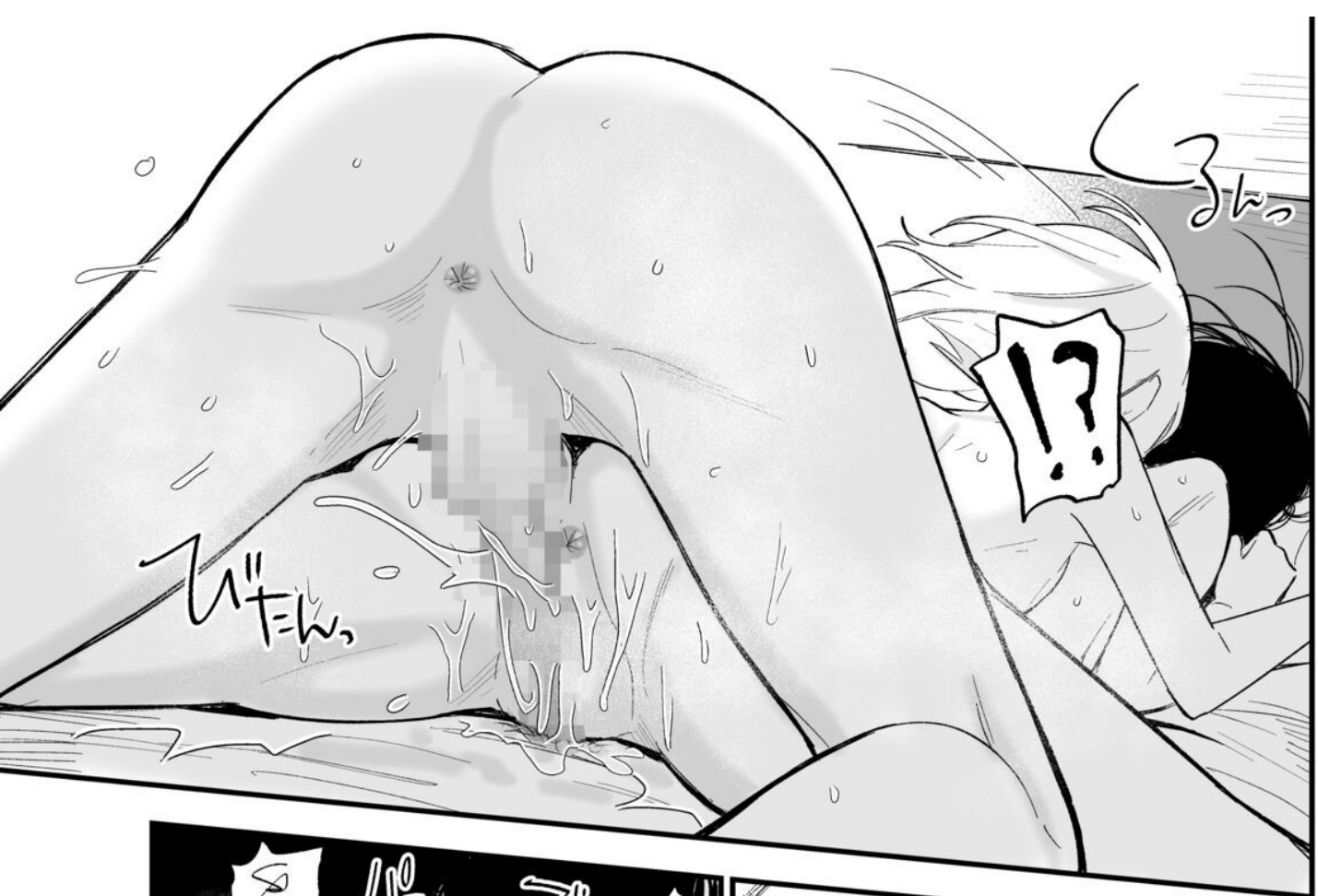
?

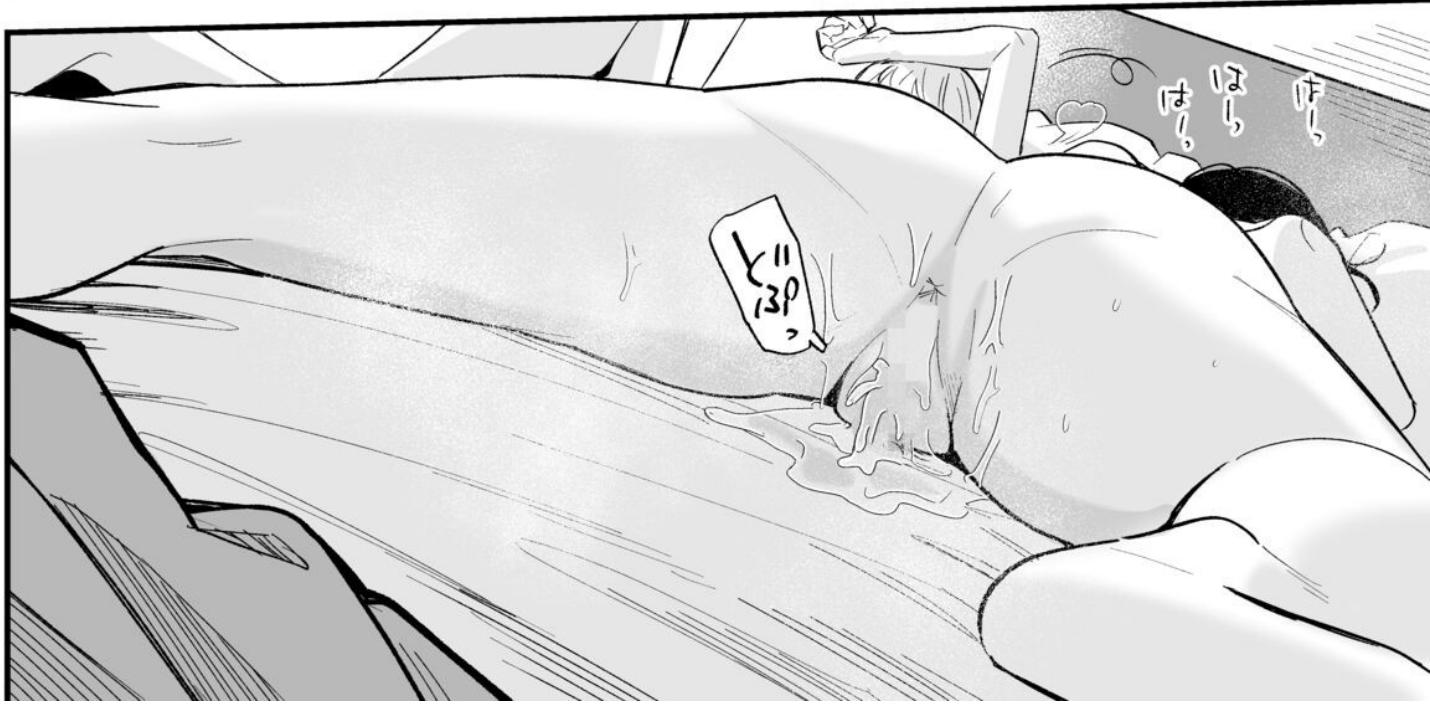


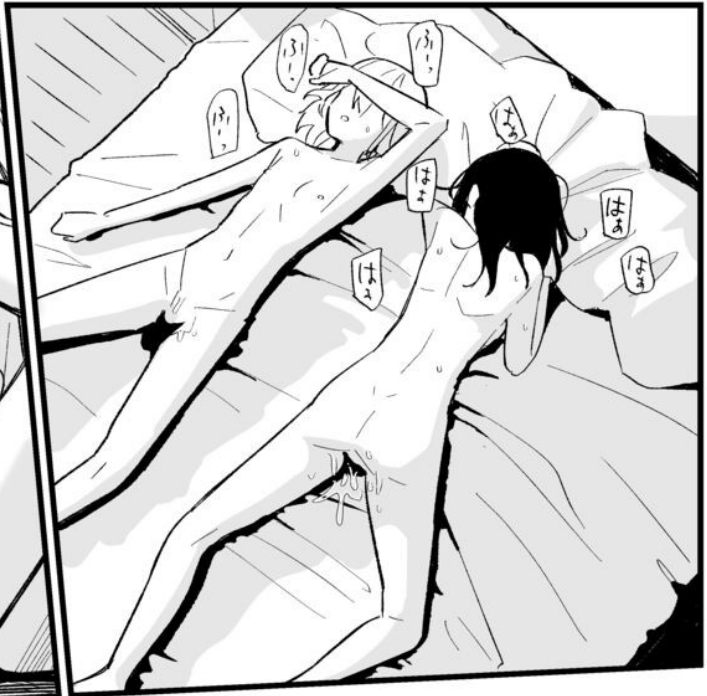
僕の童貞
奪った？



















みゆふいふん
(みゆきくん)

(かみひらこころ)
(かみちこころ)

くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ

くちゅっ
くちゅっ

かみちこころ

かみちこころ

かみちこころ

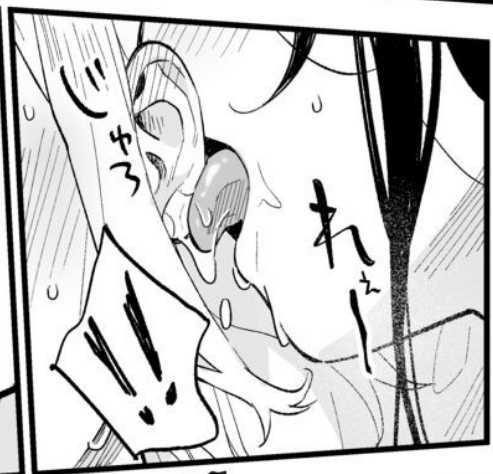
かみちこころ

かみちこころ...り

かみちこころ!!

かみちこころ







まだ全然
元気

ごめん...

触って？

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...







挿入った

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

おっ

おっ
おっ
おっ

おっ

クチュッ

クチュッ

キョッ
キョッ

おっ







御幸君

ちよつと

また...っ!

射精^でちやう...っ

ごめん
美羽子ちゃん!

グッ

でも腰が
フワフワしてっ...

すのあ!!

かっ...
勝手に...!!







美羽子ちゃんっ!



歯止めが
利かなくなった



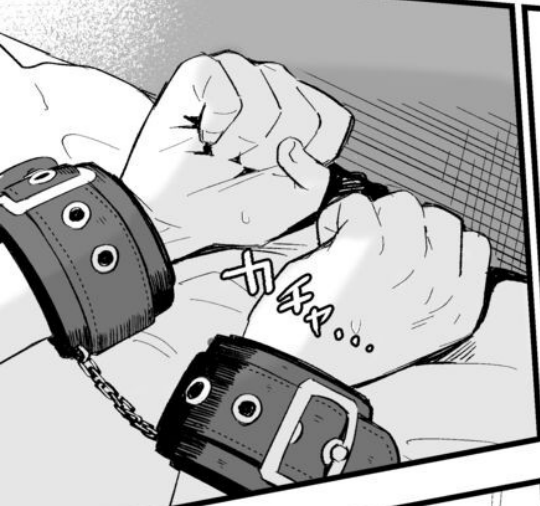
それから
朝までずっと
尽きることはなく



僕は
美羽子ちゃんを
独り占めした









意外と照れ屋で
怒りっぽいところ

うん

僕に引けを
取らないくらい
えっちなところ

うん

僕の事になると
見境なくなるところ

うん



その他
全部含めて

今も昔もずっと
美羽子ちゃんのが
大好きだよ

美羽子ちゃんは？

ハラ

私を救ってくれた
ところ

意外とお茶目で
可愛いところ

けど
やっぱりえっちで
男の子なところ

私にはもったいない
くらいカッコいい
ところ

私のことを...

ずっとみて

好きでいてくれた
ところ



じゃあ
僕達

相思相愛だね



大好きだよ

御幸君

fin

おまけ

美羽子ちゃん

?

この体勢
いい加減
キツイんだけど...

あと
体力的にも
かなり...

ええっ!!



御幸さんの願いは
できるだけ叶えて
あげたいけど

御幸くん
AVの体位ばかり
試すんだもん

...ごめんなさい



せっかく
御幸君の好みに
合わせてあげたのに
気付かないし...

なんでもない

じゃあ
続きやろっか

ひいっ!



えっ?今なんて...

おあー。

あとがき

この度は本誌をお手に取っていただき誠にありがとうございます。
今作はページ数を多くしてみました、いかがだったでしょうか。

まだ名前がTwitterだった頃、誰かが「可愛い子に生やせばそれは男の娘」というツイートを見かけ、描いてみようという興味を持ったのが今作を描いたきっかけです。

合わせて今回はページ数のことをあまり考えず、まとまったストーリーものを描きたいということから始まりました。

しかし何度脚本やネームを考えても納得いかず、ひとまず出来ている部分だけでもペン入れしてみました、40ページほど描いた時点で挫折し、他の仕事やらなにやらで一度頓挫してしまいました。

半年後くらいにまた描き始めようと奮起し、丁度タイミングよく冬コミの申し込み期間が重なっていたため、だったらメ切を課す意味でもずっと憧れだった冬コミに参加する意味でも、また頑張ろうと思うことができました。

元々描いていた序盤の40ページもほぼ描き直し、エロをできるだけ優先して不要だと思ったシーンはバッサリカットして、それでも4ヶ月ほど150ページ弱描けたのは自信になったと思います。

ちなみにカットしましたが美羽子の苗字と名前が変わった理由としては、両親が離婚して母の旧姓になり苗字が宮下に、名前は学校側に申し出て通名の美羽子になりました(その場に生徒指導の村田も同席していました)。その後加筆やら追加やらまた描きたくなってページ数を増やし、自分を追い込んでしまいましたがいっかい地獄を見ておけば、次描くときのハードルが下がるというのは何度も経験済みなので四苦八苦しながらでしたがやって良かったです。

一つテーマとして「共依存」の関係を描きたかったのですが伝わっていたら嬉しいです。

他にも男の娘要素を描いてみたかったりと、描いている途中は時間を忘れて描けました。

というわけで改めまして、ここまで読んでいただいてありがとうございました。
今後も新しい作品を描いていきたいのでよろしく願います。
それではまたどこかで。

豆六

- この作品はフィクションです。実在の人物・作品・団体・出来事などには関係ありません。
- この本は個人が非公式に発行したものです。そのため、公式設定に準拠していません。
- 18歳未満の閲覧は禁止です。本書の転載、編集、トレース、転売、使用を禁止します。
- This is a work of fiction. Any resemblance to actual persons, living or dead, works, organizations, events, or locales is entirely coincidental.
- This work is an unofficial publication by a private individual.
It does not represent any official point of view.
- ADULTS ONLY 18+. DO NOT REPOST, EDIT, TRACE, RESELL OR USE MY WORKS.